

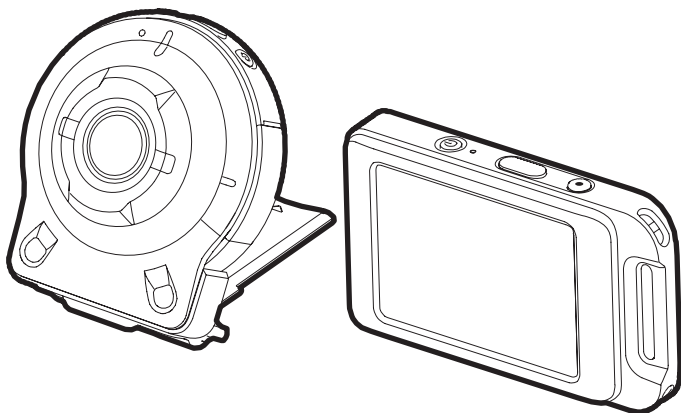
CASIO®

JA

デジタルカメラ

EX-FR10

取扱説明書



このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ず別冊「クイックスタートガイド」の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (<http://casio.jp/dc/>) またはカシオホームページ (<http://casio.jp/>) でご覧になることができます。

この取扱説明書は次のファームウェアを対象としています。
カメラ:Ver. 2.00 コントローラー:Ver. 2.00

カシオメンバーズ会員サイト登録のおすすめ

カシオメンバーズは、カシオ製品にご興味をお持ちの方向けに提供するカシオの会員サイトです。
ご入会されますと以下のサービスをご利用いただけます。

1. 様々なカシオ製品のユーザー登録ができます。
2. キャンペーンの応募などに便利です。
3. 情報満載のメールマガジンをご登録いただけます。

<https://members.casio.jp/jp/>

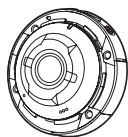


EXILIM

エクシリム

付属品を確認する

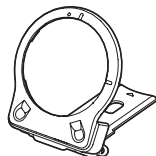
箱を開けたら、以下の付属品がそろっているか確認してください。そろっていないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



カメラ
(EX-FR10)



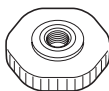
コントローラー
(EX-FR10CT)



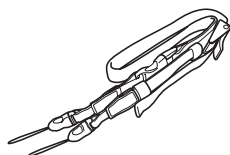
- ヒンジユニット
- ヒンジユニットは、あらかじめカメラに装着されています。



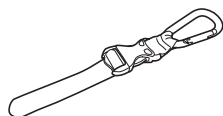
レンズフード



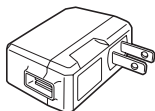
三脚ナット



ネックストラップ



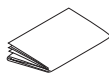
カラビナストラップ



USB-ACアダプター
(AD-C54UJ)



マイクロ
USBケーブル



クイックスタート
ガイド(保証書付き)

あらかじめご承知ください

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 万一、EXILIM Linkの使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

液晶パネルについて

液晶モニターに使用されている液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

撮影前は試し撮りを

必ず事前に試し撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

目次

付属品を確認する	2
あらかじめご承知ください	3
各部の名称	7
液晶モニターの表示内容と切り替えかた	8

■ はじめにご覧ください(基本的な操作) 10

このカメラでできること	10
アタッチメントを使う	12
■ コントローラー	12
■ ヒンジユニット	13
■ レンズフード	14
■ 三脚ナット	15
■ ストラップ	15
タッチパネルを使う	17
箱を開けたら、電池を充電する	18
電源を入れる/切る	23
最初に電源を入れたら時計を合わせる	26
メモリーカードを準備する	27
■ 使用できるメモリーカード	27
■ メモリーカードを入れる	28
■ 新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する	29
静止画を撮影する	(プレミアムオート) 30
静止画撮影時のご注意	31

■ 撮影する(応用) 32

撮影モードの画面について	32
一定間隔で複数の画像を撮影する	(インターバル撮影) 33
撮影モードを切り替えて撮影する	35
セルフタイマーを使って撮影する	(セルフタイマー) 36
ズーム撮影する	37
動画を撮影する	38

■ よりよい撮影のための設定 40

人物の顔を美しく撮影する	(メイクアップ) 41
画面をタッチして撮影する	(タッチシャッター) 41
静止画サイズを変更する	(静止画サイズ) 41
動画の撮影時間を設定する	(最大録画時間) 42
明るさを補正して撮影する	(EVシフト) 43
色合いを調整して撮影する	(ホワイトバランス) 44
カメラの向きを判断して画像を表示する	(自動回転) 44
自分撮りをする	(鏡面反転) 45

■ 静止画や動画を再生する

46

再生モードの画面について	46
撮影した静止画を見る	47
撮影した動画を見る	48
撮影した静止画や動画を消去する	49
画像を拡大して表示する	49
画像を一覧表示する	50
画像を回転させる	(回転表示) 50
タイムラプス動画を作成する	(タイムラプス) 51
1日のできごとを1枚の画像にする	(ハイライトフォト) 53
1日のできごとを動画にする	(ハイライトムービー) 54
画像を評価する	(ハイライトスコア) 56

■ カメラとスマートフォンを接続して楽しむ (無線LAN)

57

スマートフォンにつないでできること	57
スマートフォンをカメラに接続する	59
■ お使いのスマートフォンに専用アプリ“EXILIM Link”をインストールする	59
■ 最初に無線LANに接続してSSIDとパスワードを変更する	60
■ 無線LAN接続を解除する	61
スマートフォンをカメラのリモコンとして使う	62
現在表示している画像をスマートフォンに送る	(表示画像を送る) 62
カメラで撮影した画像を選んでスマートフォンに送る	62

■ その他の設定について

63

コントローラーの画面の向きを固定する	(画面ロック) 63
カメラの音を設定する	(カメラ音) 63
パイプレーション機能を使う	(パイプレーション) 63
フリック動作でコントローラー表示を復帰する	(フリック起動) 64
カメラの日時を設定し直す	(日時設定) 64
日付の表示の並びを変える	(表示スタイル) 64
表示言語を切り替える	(Language) 64
コントローラーがスリープモードになるまでの時間を変える	(スリープ) 65
メモリーをフォーマットする	(フォーマット) 65
各種設定を購入直後の設定に戻す	(リセット) 65
カメラのファームウェアのバージョンを確認する	(バージョン情報) 65

■ プリント(印刷)する

66

パソコンを使って印刷する	67
--------------	----

■ パソコンを利用する

68

パソコンを使ってできること	68
Windowsパソコンを利用する	68

■ 画像をパソコンに保存する／パソコンで見る	69
■ 動画を再生する	72
Macintoshを利用する	72
■ 画像をパソコンに保存する／パソコンで見る	73
■ 動画を再生する	74
ファイルとフォルダーについて	75
メモリー内のデータについて	76

■ 付録

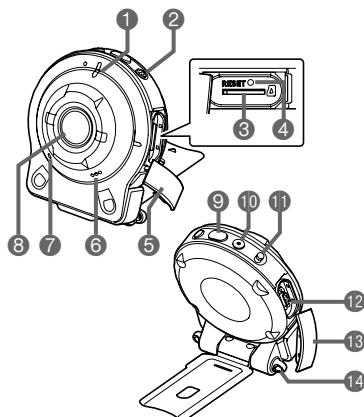
77

耐衝撃性能、防水／防塵性能について	77
使用上のご注意	80
電源について	86
■ 充電について	86
■ 電池に関するご注意	87
■ 海外で使うときは	87
カメラを廃棄するときは	87
メモリーカードについて	90
リセット操作でリセットされる内容	91
故障かな？と思ったら	93
■ 現象と対処方法	93
■ 画面に表示されるメッセージ	96
撮影可能枚数／撮影可能時間	98
主な仕様／別売品	99
索引	103

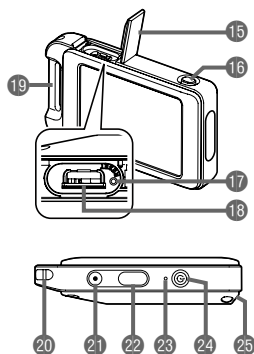
各部の名称

各部の説明が記載されている主なページを()内に示します。

カメラ部



コントローラー部



カメラ部

- ① 動作確認ランプ (19、21ページ)
- ② 【**U**】(電源) (23ページ)
- ③ メモリーカード挿入部 (28ページ)
- ④ リセットボタン (93ページ)
- ⑤ 【CARD】カバー (28ページ)
- ⑥ スピーカー
- ⑦ マイク (16、39ページ)
- ⑧ レンズ (16ページ)
- ⑨ シャッター (30ページ)
- ⑩ 【**●**】(ムービー) (38ページ)
- ⑪ 【FREE】レバー (13ページ)

- ⑫ 【USB】端子 (18、20、69、73ページ)
- ⑬ 【USB】カバー (18、20ページ)
- ⑭ ストラップ取り付け部 (15ページ)

コントローラー部

- ⑮ 【USB】カバー (18、20ページ)
- ⑯ 【RELEASE】ボタン (12ページ)
- ⑰ リセットボタン (93ページ)
- ⑱ 【USB】端子 (18、20ページ)
- ⑲ カラビナストラップ取り付け部 (16ページ)

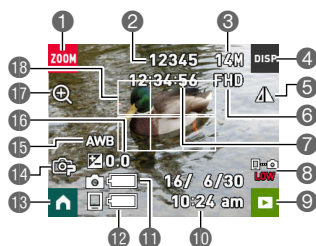
- ⑳ ストラップ取り付け部 (15ページ)
- ㉑ 【**●**】(ムービー) (38ページ)
- ㉒ シャッター (30ページ)
- ㉓ 動作確認ランプ (19、21ページ)
- ㉔ 【**U**】(電源) (23ページ)
- ㉕ ヒンジユニット挿入部 (12ページ)

液晶モニターの表示内容と切り替えかた

液晶モニターには、さまざまな情報がアイコンや数字などで表示されます。

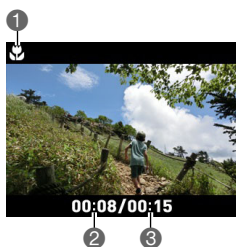
- 下の画面は、情報が表示される位置を示すためのものです。液晶モニターが実際にこの画面のようになることはありません。

■ 静止画撮影時



- ① ズームアイコン (37ページ)
- ② 静止画撮影可能枚数 (98ページ)
- ③ 静止画サイズ (41ページ)
- ④ 情報表示切替アイコン (9ページ)
- ⑤ 鏡面反転 (45ページ)
- ⑥ 動画画質 (38ページ)
- ⑦ 動画撮影可能時間 (98ページ)
- ⑧ Bluetoothの通信状況 (24ページ)
- ⑨ 再生モード切替アイコン (25, 47ページ)
- ⑩ 日付/時刻 (26, 64ページ)
- ⑪ カメラ電池残量 (22ページ)
- ⑫ コントローラー電池残量 (22ページ)
- ⑬ ホームアイコン (32ページ)
- ⑭ 撮影モード (35ページ)
- ⑮ ホワイトバランス (44ページ)
- ⑯ 露出補正 (43ページ)
- ⑰ デジタルズーム (37ページ)
- ⑱ フォーカスフレーム

■ 動画撮影時



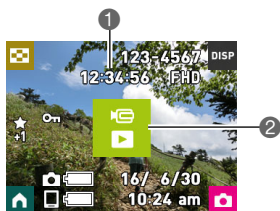
- ① 近距離表示 (38ページ)
- ② 動画の撮影時間 (38ページ)
- ③ “最大録画時間”で設定した時間 (38ページ)

■ 静止画再生時



- ① 一覧表示アイコン (50ページ)
- ② 情報表示切替アイコン (9ページ)
- ③ 静止画サイズ (41ページ)
- ④ フォルダー名/ファイル名 (75ページ)
- ⑤ 撮影モード切替アイコン (25ページ)
- ⑥ 日付/時刻 (26、64ページ)
- ⑦ カメラ電池残量 (22ページ)
- ⑧ コントローラー電池残量 (22ページ)
- ⑨ ホームアイコン (46ページ)
- ⑩ 露出補正 (43ページ)
- ⑪ ホワイトバランス (44ページ)
- ⑫ ハイライトスコア (56ページ)

■ 動画再生時



- ① 動画の撮影時間 (48ページ)
- ② “▶” (動画再生)アイコン (48ページ)

■ 液晶モニターに表示される内容を選ぶ(DISP)

“DISP”をタッチすることにより、画面に表示される情報表示の有無が選べます。撮影モード、再生モードでそれぞれ設定できます。

- 動画撮影時は情報表示の切り替えはできません。

情報表示なし	画面には何も表示されません。
情報表示あり	設定内容の情報などが表示されます。
ステータス表示あり	より詳しい設定内容の情報が表示されます。

はじめにご覧ください(基本的な操作)

このカメラでできること

このカメラには、撮影に便利なさまざまな機能が搭載されていますが、ここでは代表的な機能を紹介します。

■ 撮る



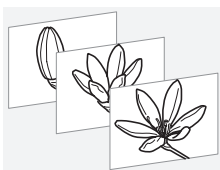
さまざまなスタイルで撮影

カメラとコントローラーはBluetooth® (以下、Bluetoothと略)無線技術で接続します。

付属のストラップや三脚ナットを使って、さまざまな角度から撮影できます。

また、カメラを90度回転すると、カメラのスタイルはそのままに撮影の向きだけを変えることができます。

→12ページ



インターバル撮影

一定の撮影間隔で静止画や動画を自動で撮影できます。1日の行動や変化を簡単に記録できます。

→33ページ

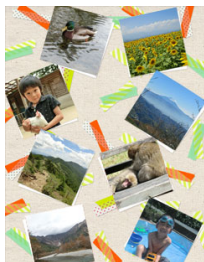


アートショット

見慣れた被写体でも、普段と変わった印象的な写真に上げることができます。本機には色々な効果が搭載されています。

→35ページ

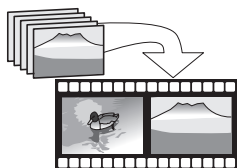
■ 見せる



ハイライトフォト

日付ごとにおすすめの静止画が選択され、1枚の静止画に合成できます。

→53ページ



ハイライトムービー

日付ごとにおすすめの静止画や動画が選択され、1つのムービー(動画)に編集します。

→54ページ

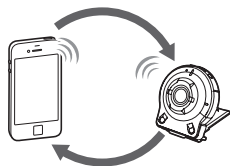


タイムラプス

日付ごとに撮影した画像をつなぎあわせて動画を作成します。

→51ページ

■ 共有する



無線LAN接続

スマートフォンをカメラのリモコンとして使ったり、撮影した画像をスマートフォンにコピーできます。

→57ページ

アタッチメントを使う

本機は、ヒンジユニットを使うことでカメラにコントローラーを取り付けたり、付属品や別売品の各種アタッチメントを取り付けることができる構造になっています。目的に応じたスタイルで撮影してください。

重要

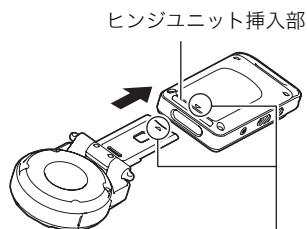
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターが破損することがあります。
- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮されませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブローアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

コントローラー

コントローラーをカメラに取り付けて、通常のカメラのように使うことができます。

■ 取り付ける

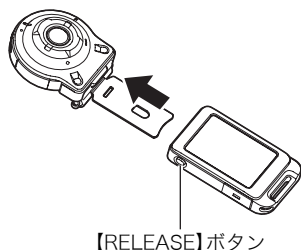
1. カメラのレンズとコントローラーの液晶モニターを同じ向きにして、ヒンジユニットをコントローラーのヒンジユニット挿入部に差し込む
2. “カチッ”と音がするまで押し込む



ヒンジユニットの先端の▼マークとコントローラーのヒンジユニット挿入部の▲マークを合わせてください。

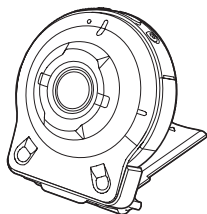
■ 取り外す

1. コントローラーの【RELEASE】ボタンを押しながら、カメラを引き抜く



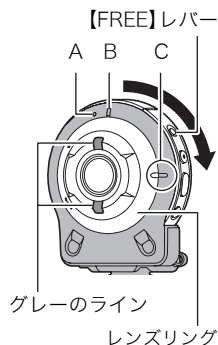
ヒンジユニット

■ ヒンジユニットをスタンド形状にして使用する



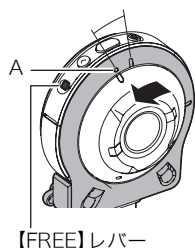
■ 撮影方向を90度変更する

1. カメラの【FREE】レバーを引き下げながら、カメラを時計回りに“カチッ”と音がするまで90度回す
 - カメラの動作確認ランプをヒンジユニットのマーク“C”に合わせます。
 - レンズリングにあるグレーのラインが撮影される画像の向き(長い方)を示します。

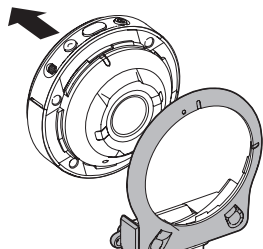


■ ヒンジユニットを取り外す

1. カメラの【FREE】レバーを引き下げながらカメラを反時計回りに約15度回し、カメラの動作確認ランプをヒンジユニットのマーク“A”に合わせる



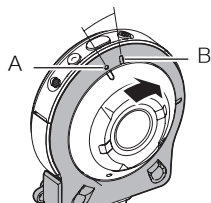
2. ヒンジユニットをカメラから取り外す



■ ヒンジユニットを取り付ける

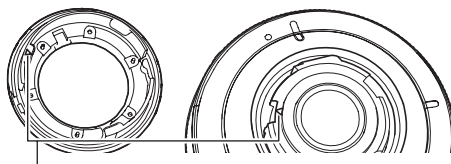
1. カメラの動作確認ランプにヒンジユニットのマーク“A”を合わせる

2. カメラを時計回りに約15度回してカメラの動作確認ランプにヒンジユニットのマーク“B”を合わせ、ヒンジユニットを固定する



レンズフード

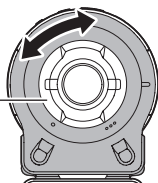
不要な光がレンズに当たるときは、レンズリングを反時計回りに回して取り外し、レンズフードを取り付けてください。



レンズフード、レンズリングを取り付ける際は、カメラの▲マークとレンズフード、レンズリングの▼マークをあわせてください。

取り付け

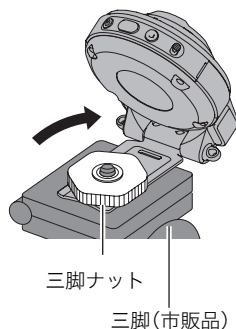
取り外し



レンズリング

三脚ナット

1. 三脚ナットの固定ネジで三脚(市販品)とヒンジユニットを固定する

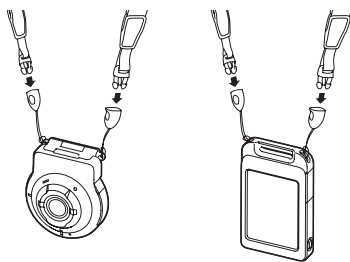


ストラップ

■ ネックストラップ

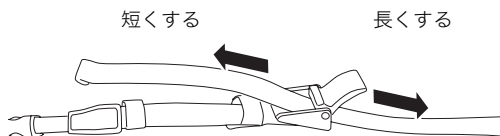
カメラまたはコントローラーに取り付けることができます。

1. ストラップのバックルを取り外し、カメラまたはコントローラーのストラップ取り付け部(2か所)にストラップを取り付ける



2. バックルを取り付ける

3. ストラップの長さを調節し、アジャスターで固定する



4. ストラップの端をバンドに通す



■ カラビナストラップ

1. カラビナストラップのベルトをコントローラーのカラビナストラップ取り付け部に通す



2. ベルトをバックルに通して固定する

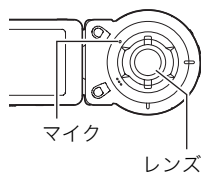


重要

- カラビナストラップは登山用としては使用できません。本機を吊り下げる用途だけに使用してください。

参考

- 撮影するときは、シャッターを静かに押し、シャッターを押し切った瞬間とその直後はカメラが動かないようにしてください。
- 指やストラップが図に示す部分をふさがないようにしてください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途には使用しないでください。



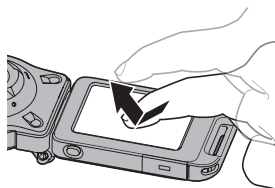
タッチパネルを使う

本機の液晶モニターはタッチパネルになっています。指を使用して、さまざまな操作ができます。

タッチ

画面に触れて離します。

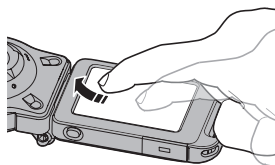
アイコンやメニュー項目を選んだり、設定したりします。



フリック

画面を触り、上下左右にはじくように指を動かします。

前後の画像を表示するときなどに使用します。



2本の指でタッチしながら広げる

画面を2本の指で触り、触ったまま指を広げます。

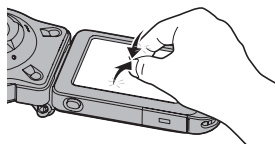
画像を拡大して表示します。



2本の指でタッチしながら狭める

画面を2本の指で触り、触ったまま指を狭めます。

画像を縮小したり、画像の一覧を表示します。



重要

- 先がとがったものや硬いもので押さないでください。液晶モニターが破損することがあります。
- タッチパネルは爪では認識しづらいので、指の腹で操作してください。

参考

- 市販の液晶保護シートを貼ると、操作が感知されにくくなります。

箱を開いたら、電池を充電する

カメラとコントローラーには、リチウムイオン充電電池が内蔵されています。お買い上げ後は、電池は充電されていませんので、カメラとコントローラーの両方の電池を順番に充電してからご使用ください。

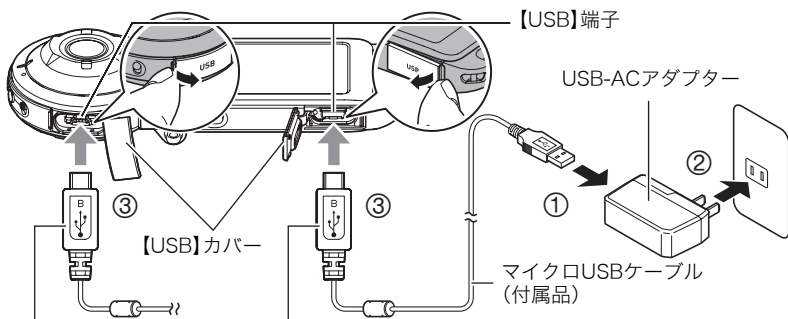
電池は次の2種類の方法で充電できます。

- USB-ACアダプター(AD-C54UJ)を使って充電する
別売品のUSB-ACアダプター「AD-C53U」も使用できます。
- パソコンのUSB端子から充電する

■ USB-ACアダプターで充電する

カメラおよびコントローラーの電源が切れた状態で、①、②、③の順に接続します。

充電時間：約2時間15分



小さいコネクタ(マイクロUSBコネクタ)の \leftarrow マークを以下の向きにして差し込みます。

カメラ：レンズ側

コントローラー：液晶モニター側

- カメラからアダプターを外す場合は、必ずカメラ側(上の図の③)から先に外してください。

参考

- USB-ACアダプターで充電中でも、カメラおよびコントローラーの電源を入れると、撮影などの操作ができます。ただし、カメラの場合は充電が停止します。

■ 動作確認ランプの動作

電源が切れた状態のとき

動作	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	周辺温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(86ページ)／タイマーによる充電終了
消灯	充電完了

電源を入れたとき

- カメラ

動作	内容	
緑点灯	カメラ動作中	充電停止
赤とオレンジがゆっくり点滅	スリープ	充電中
赤と緑が素早く点滅		周辺温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(86ページ)／タイマーによる充電終了
緑がゆっくり点滅		充電完了

- コントローラー

動作	内容
オレンジ点灯 (赤とオレンジがゆっくり点滅)	充電中
緑とオレンジが素早く点滅 (赤と緑が素早く点滅)	周辺温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(86ページ)／タイマーによる充電終了
緑点灯(緑がゆっくり点滅)	充電完了

- ()内はスリープしたときの動作です。

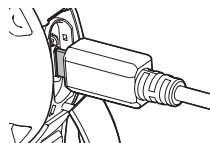
重要

- 長期間電池を使わなかった場合や周囲の温度によっては、充電時間がさらに延びる場合もあります。また、充電時間が約5時間を超えるとタイマーが働き、フル充電でない場合でも充電を停止し、動作確認ランプが赤く点滅することがあります。
- 充電中、USB-ACアダプターは若干熱を持ちますが、故障ではありません。

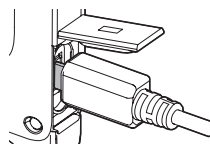
充電中に動作確認ランプが点灯または点滅しない場合は、USBケーブルの向きを確認してみてください。

- USBケーブル接続時は、ケーブルのコネクタをカチッとクリック感があるまでカメラへ押し込んでください。完全に挿入しないと、通信不良や製品の故障の原因となります。
- 完全に挿入しても、イラストのようにコネクタの金属部が見えます。

カメラ

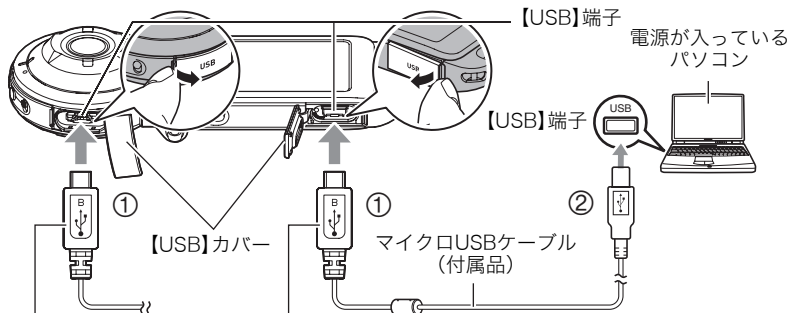


コントローラー



■ パソコンのUSB端子から充電する

カメラおよびコントローラーの電源が切れた状態で、①と②の接続をします。



小さいコネクタ(マイクロUSBコネクタ)の•←マークを以下の向きにして差し込みます。

カメラ: レンズ側

コントローラー: 液晶モニター側

- パソコンに接続する前にカメラまたはコントローラーの電源が入っているときは、【⏻】(電源)を長押しして電源を切ってください。

充電時間: 約2時間30分

参考

- パソコンで充電中にカメラの電源を入れると、充電を継続したままパソコンとのUSB通信状態に移行します。コントローラーの電源を入れた場合は、充電を継続したまま電源が入ります。ただし、パソコンの種類や接続環境により給電能力が低い場合は、充電が停止します。

■ 動作確認ランプの動作

電源が切れた状態のとき

動作	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	周辺温度の異常／USB-ACアダプターの異常／ 電池の異常(86ページ)／タイマーによる充電終了
消灯	充電完了

電源を入れたとき

- ・ カメラ

動作	内容
オレンジ点灯	充電中
赤と緑が素早く点滅	周辺温度の異常／USB-ACアダプターの異常／ 電池の異常(86ページ)／タイマーによる充電終了
緑点灯	充電完了

- ・ コントローラー

動作	内容
オレンジ点灯 (赤とオレンジがゆっくり点滅)	充電中
緑とオレンジが素早く点滅 (赤と緑が素早く点滅)	周辺温度の異常／USB-ACアダプターの異常／ 電池の異常(86ページ)／タイマーによる充電終了
緑点灯(緑がゆっくり点滅)	充電完了

- ・ ()内はスリープしたときの動作です。

重要

- ・ 初めてカメラまたはコントローラーをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。
- ・ 長期間電池を使わなかった場合や、パソコンの種類や接続環境によっては充電時間が約5時間を超えるとタイマーが働き、フル充電でない場合でも充電を停止します。フル充電できなかった場合はUSBケーブルを抜き差しし、再度充電してください。より早く充電を完了するためには、付属のUSB-ACアダプターで充電されることをおすすめします。
- ・ パソコンが休止状態のときは充電できません。

その他充電についてのご注意

- 充電機は本書指定の方法で充電してください。
- 本機はUSB2.0準拠のUSB端子からのみ充電できます。
- USB充電に対応する機器や電源機器には、一定の規格があります。粗悪なもの、規格から外れるもののご使用は、機器の誤動作、故障の原因になることがあります。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの動作は保証できません。市販のパソコンでもUSBポートの仕様によっては、USBケーブルを接続しても充電されないことがあります。
- 使用直後の熱くなった電池は、十分に充電されない場合があります。電池が冷えるのを待ってから充電してください。
- 電池は使用しない場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。その場合、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
- 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。
- USB-ACアダプター(AD-C54UJ)は本機以外には使用しないでください。
- 充電は、本書で指定したUSB-ACアダプター、USBケーブルをご使用ください。指定以外のもので充電した場合は、正しく充電できないことがあります。

電池の残量を確認するには

電池が消耗すると、液晶モニターに表示される電池残量表示が下記のように変化します。

電池の残量		多い	←		→		少ない	
電池残量表示	カメラ		→		→		→	
	コントローラー		→		→		→	
残量表示の色		白	→	白	→	赤	→	赤

“

”は間もなく電池残量が無くなることを表しています。すぐに充電してください。

- 撮影モードと再生モードを切り替えた場合、電池残量表示の状態が変わることがあります。
- 電池が消耗している状態でカメラを約5日放置すると、日時の設定がリセットされます。新たに電源を入れたとき、日付の設定をお知らせする画面が表示されますので、日付を設定してください(64ページ)。
- 電池寿命と撮影枚数に関しては100ページをご覧ください。

■ カメラとコントローラーの無線接続について(Bluetooth)

カメラとコントローラーはBluetooth無線技術で接続します。接続に必要なペアリングはあらかじめ行われているので、カメラとコントローラーの電源を入れるだけで自動的にBluetooth無線技術で接続し

ます。カメラとコントローラーが離れすぎているときは、このBluetooth無線技術での接続は解除されます。Bluetooth無線技術での接続が解除されると、コントローラーは一定の時間経過後に電源が切れます。カメラは電源が入ったままになっているので、カメラのシャッターを押して撮影することはできません。



重要

- 本機は、無線通信機能のBluetooth無線技術での接続機能を搭載しています。飛行機機内などの無線通信機能が制限されている場所では、カメラ単独動作も含めてご使用できません。

参考

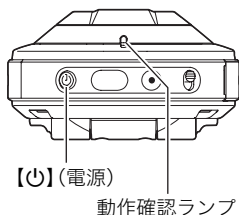
- 本機のBluetooth無線技術での接続の設定は変更できません。
- 本機はカメラとコントローラー以外の機器には、Bluetooth無線技術での接続はできません。

■ 電源を入れる

本機を使用するには、カメラとコントローラーの両方の電源を入れる必要があります。

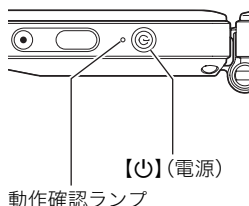
カメラ

【⏻】(電源)を押します。



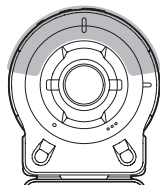
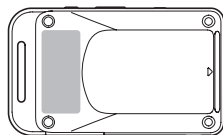
コントローラー

【⏻】(電源)を押します。



- 電源が入ると、カメラとコントローラーの動作確認ランプが緑色に点灯し、カメラとコントローラーのBluetooth無線技術での接続が自動で開始されます。コントローラーの画面に画像が表示され、撮影できる状態になります。
- カメラとコントローラーの向きや、距離によって通信状態が変わります。
- カメラとコントローラーが離れた状態で撮影する場合、コントローラーのシャッターを押して撮影できる範囲は約10mです。また、コントローラーのモニター画面に映像を表示できる範囲は約5mです。

- 通信状態が悪い場合は、コントローラーの動作確認ランプが緑色に点滅し、画面に「Bluetooth」(Bluetoothの通信状況)が表示されます。通信状態が悪いときにコントローラーで操作すると、カメラの反応が遅いことがあります。
この状態になった場合は、カメラとコントローラーの向きや距離を変えてみるなどして調整してください。
- カメラとコントローラーの通信が安定した状態でお使いいただくため、以下の点に注意してください。
 - コントローラーを横向きにする
 - コントローラーの後面にある各種ロゴや文字が印刷されている付近を覆わないようにする
 - コントローラーの後面をカメラに向ける
 - カメラのレンズリング周辺を覆わないようにする
 - カメラとコントロールの間に障害物を置かない



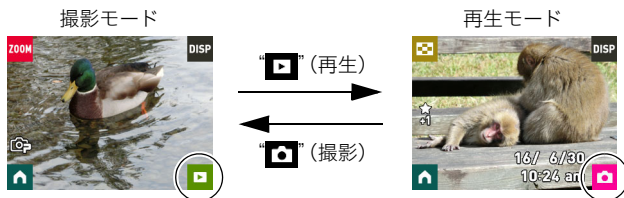
スリープモードについて

カメラとコントローラーがBluetooth無線技術で接続されているときにコントローラーの【⏻】(電源)を押す、または、セットアップメニューの“スリープ”(65ページ)で設定した時間コントローラーを操作しないと表示が消えてスリープモードになります。さらに5秒間操作しないとカメラもスリープモードになります。スリープモード中は、動作確認ランプが緑色でゆっくり点滅します。スリープモード中にコントローラーのいずれかのボタンを押すと、表示が戻ります。スリープモード中でも、カメラとコントローラーはBluetooth無線技術で接続された状態になっているので、素早く起動できます。

- スリープモード中も、カメラとコントローラーの距離が離れた場合や通信状態が悪くなると、接続が切れる可能性があります。

撮影モードと再生モードを切り替える

画面右下のアイコンをタッチ、または画面を上下にフリックすると、撮影モードと再生モードを切り替えることができます。



参考

- 「再生」や「撮影」が表示されていない場合は、「戻る」または「DISP」をタッチしてください。

電源を切る

カメラとコントローラー両方の【電源】(電源)を長押しします。

- カメラの電源を切ると、コントローラーの電源も自動的に切れます。

最初に電源を入れたら時計を合わせる

お買い上げ後、最初に電源を入れたときは

時計を設定する画面が表示されます。時計を設定しないと、撮影した画像に正しい日時が記録されません。

1. カメラとコントローラーの電源を入れる(23ページ)

- 初めて電源を入れたときは、言語選択表示画面が表示されます。言語選択画面が表示されない場合は、カメラの電源が入っているか確認してください。

2. コントローラーの画面を上下にフリックまたは“▲”“▼”をタッチして、使用したい言語を表示させてタッチする

3. 使用したい日付のスタイルをタッチする

例)2016年7月10日

年/月/日→16/7/10

日/月/年→10/7/16

月/日/年→7/10/16

4. 日付と時刻を合わせる

- 変更したい値(年、月、日、時、分)をタッチして、“▲”“▼”で数字を合わせます。
- 12時間/24時間表示を切り替えるには、“am(pm)”/“24h”を選び、“▲”“▼”をタッチします。



時間表示切替

5. 日付/時刻合わせが終了したら、“決定”をタッチする

日付/時刻を間違えて設定した場合、上記の手順では直せません。64ページをご覧ください。

メモリーカードを準備する

撮影する画像を保存するため、市販のメモリーカードをご用意ください(本機にメモリーカードは付属していません)。本機はメモリーを内蔵しており、この内蔵メモリーだけでも数枚程度の静止画や短い動画の撮影はできます。メモリーカードを入れているときはメモリーカードに、入れていないときは内蔵メモリーに記録されます。

- 内蔵メモリーに保存した静止画や動画は、カメラ内でメモリーカードにコピーはできません。
- 保存できる枚数については98ページをご覧ください。

使用できるメモリーカード

- microSDメモリーカード
- microSDHCメモリーカード
- microSDXCメモリーカード



- 使用できるメモリーカードの種類は2015年3月現在のものです。
- microSD規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は、microSDメモリーカードが2GB以下、microSDHCメモリーカードが2GB超～32GB以下、microSDXCメモリーカードが32GB超～2TB以下となります。前記のメモリーカードであっても、容量をはじめ、すべてのカードで動作を保証するものではありません。

当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトの「デジタルカメラお客様サポートメニュー」(<http://casio.jp/support/dc/>)をご覧ください。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

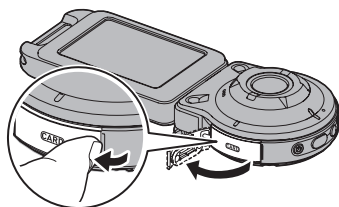
警告

- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



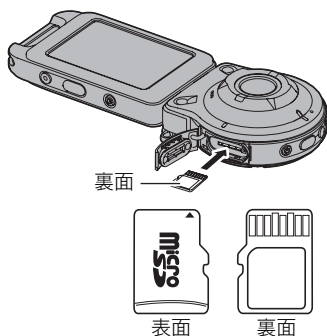
メモリーカードを入れる

1. カメラの【O】(電源)を長押しして電源を切り、カメラの【CARD】カバーを開ける

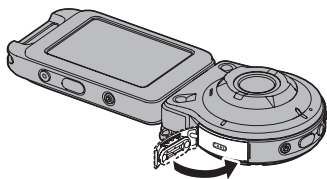


2. メモリーカードを入れる

メモリーカードの裏面をレンズ側にして、メモリーカード挿入口にカチッと音がするまで押し込みます。



3. 【CARD】カバーを閉じる



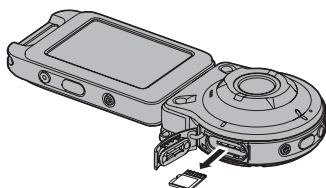
重要

- メモリーカード挿入口には指定のメモリーカード(27ページ)以外のは入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切って、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ メモリーカードを交換する

メモリーカードを押すとカードが少し出てきますので、引き抜いて別のメモリーカードを入れます。

- メモリーカードは、カメラの電源を切ってから取り出してください。電源が入った状態で取り出すと、撮影された画像が記録されなかったり、メモリーカードを破壊する恐れがあります。



新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する

本機で初めて使用するメモリーカードはカメラでフォーマットしてください。

※ 重要

- すでに静止画などが保存されているメモリーカードをフォーマットすると、その内容がすべて消去されます。フォーマットは普段行う必要はありませんが、画像の記録速度が遅くなったなどの異常が見られる場合にフォーマットしてください。
- メモリーカードをフォーマットするときは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットするとSD規格非準拠となり、処理速度が著しく遅くなるなど、互換性や性能等で問題が生じる場合があります。

1. カメラにメモリーカードを入れる(28ページ)

2. カメラとコントローラーの電源を入れる(23ページ)

3. “” (ホーム)アイコンをタッチする

4. “MENU”をタッチする

5. 画面を上下にフリック(17ページ)して“セットアップ”を選び、タッチする

6. 画面を上下にフリックして“フォーマット”を選び、タッチする


7. “フォーマット”をタッチし、“はい”をタッチする メモリーカードのフォーマットが開始されます。

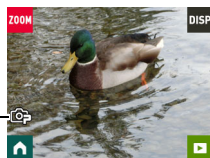
静止画を撮影する(プレミアムオート)

本機には、目的に応じた撮影モード(35ページ)が複数搭載されており、撮影方法もさまざまです。ここでは、プレミアムオートを使用した一般的な撮影方法を説明します。プレミアムオートを使用すると、被写体や撮影環境などをカメラが自動的に判断し、高画質で撮影できます。

1. カメラとコントローラーの電源を入れる(23ページ)

カメラとコントローラーが撮影モードで起動します。

- お買い上げ直後は、撮影モードが“プレミアムオート”に設定されています。他の撮影モードになっている場合は、35ページを参照して撮影モードを切り替えてください。
- 再生モードになっているときは、 (撮影)をタッチしてください。



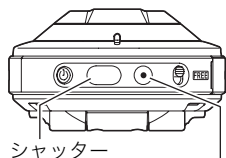
プレミアムオート
アイコン

2. カメラを被写体に向ける

3. カメラまたはコントローラーのシャッターを押す 露出やピントを自動的に合わせて、静止画が撮影されます。

- コントローラーの電源が入っていないときやカメラやコントローラーがスリープモード(24ページ)のときでも、カメラのシャッターを押すと静止画を撮影できます。

カメラ



シャッター

【●】(ムービー)

コントローラー



【●】(ムービー)

シャッター

重要

- CMOS撮像素子の原理上、動きの速い被写体や手ブレのときに撮影画像に歪みが発生することがあります。

動画を撮影するには

カメラまたはコントローラーの【●】(ムービー)を押すと動画の撮影が開始されます。

再度【●】(ムービー)を押す、または設定した時間撮影されると終了します。

詳しくは38ページをご覧ください。

- 撮影可能な動画は、1ファイル最長29分間です。

参考

- 画面をタッチして、静止画を撮影することもできます(41ページ)。
- 撮影する静止画の画像サイズを設定することができます。詳しくは41ページをご覧ください。

■ カメラ単体で撮影する

コントローラーの電源が入っていないなど、カメラとコントローラーが接続していない状態でも、カメラ単体で撮影できます。

- インターバル撮影中(33ページ)、または動画撮影中(38ページ)にコントローラーの電源を切っても、撮影は継続します。

■ プレミアムオートで撮影するとき

- シャッター速度、ISO感度などに加えて、カメラが次の機能なども自動的に作動させて撮影します。
 - 常にオートフォーカス動作を行い、ピントを合わせ続けます。
 - 画面の中でピントを合わせるべき場所をカメラが自動的に判断し、そこへピントを合わせます。
 - 人物を撮影するときに、一度に最大12人まで人物の顔を検出し、ピントと明るさを合わせて撮影します。

静止画撮影時のご注意

操作について

- 不要な光がレンズに当たるときは、手でレンズを覆う、またはレンズフード(14ページ)を取り付けて撮影してください。

撮影時の画面について

- 被写体の明るさにより、液晶モニターの表示の反応が遅くなったり、ノイズが出たりすることがあります。
- 液晶モニターに表示される被写体の画像は、確認のための画像です。実際は、設定した撮影モード(35ページ)で撮影されます。

蛍光灯の部屋での撮影について

- 蛍光灯のごく微妙なちらつきにより、撮影画像の明るさや色合いが変わることがあります。

撮影する(応用)

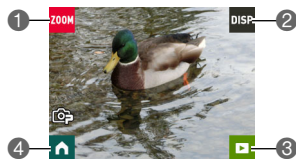
撮影モードの画面について

本機の撮影モード画面について説明します。撮影モードのメイン画面またはホーム画面を表示中は、カメラまたはコントローラーのシャッターを押すと、静止画を撮影できます。


■ メイン画面

電源を入れた直後、または再生モードから撮影モードにしたときに表示される画面です。

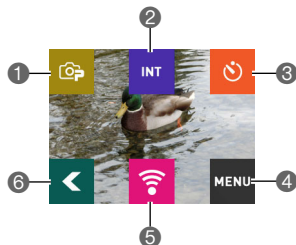
- ① ズーム(37ページ)
- ② 情報表示切り替え(9ページ)
- ③ 再生モード切り替え(25ページ)
- ④ ホーム画面表示



■ ホーム画面

メイン画面の“” (ホーム)アイコンをタッチすると表示されます。




- ① 撮影モード(35ページ)
- ② インターバル撮影(33ページ)
- ③ セルフタイマー(36ページ)
- ④ メニュー(40ページ)
- ⑤ 無線モード(57ページ)
- ⑥ メイン画面表示




一定間隔で複数の画像を撮影する(インターバル撮影)

指定した間隔ごとに、静止画や動画を自動で撮影できます。

■ インターバル撮影を開始する


1. 撮影モードのメイン画面で“” (ホーム)アイコンをタッチする
2. ホーム画面の“” (インターバル撮影)アイコンをタッチする
3. “” (インターバル設定)アイコンをタッチする
4. 設定項目をタッチして、設定を変更する

モード	スポーツ: スポーツなど、動きのある場面に適した撮影モードです。 このモードでは、静止画サイズが3M(2048×1536)になり、CMOS 撮像素子特有の撮影画像の歪みが出にくくなります。 ノーマル: 通常の撮影モードです。
間隔	撮影する間隔を決めます。
撮影パターン	静止画+動画: 静止画が5枚撮影されたあと、5秒間の動画が1回撮影 されます。 動画のみ: 動画が5秒間撮影されます。音声も録音されます。 静止画のみ: 静止画が撮影されます。 • “間隔”を“5 sec”に設定した場合、動画の撮影時間は2秒間になり ます。

5. “” (戻る)アイコンをタッチする

6. “開始”をタッチする

インターバル撮影が開始されます。

- インターバル撮影を開始すると、カメラとコントローラーはスリープモードになり、撮影待機状態になります。このとき、動作確認ランプが緑色に点滅します。ただし、撮影間隔が5秒のときは、カメラはスリープモードになりません。
- スリープモードのときに、コントローラーのいずれかのボタンを押すと、スリープモードから復帰します。さらに、画面の“”をタッチすると、撮影した枚数が画面に表示されます。表示は9999枚が上限ですが、付属のUSB-ACアダプターなどで電源が供給される限り、9999枚を超えても撮影は続きます。



参考

- インターバル撮影では、オートフォーカスで撮影されます。
- インターバル撮影で動画を撮影中は、手ブレを補正します。ただし、被写体ブレには効果がありません。
- インターバル撮影中はズーム操作を含む、撮影設定を変更できません。
- カメラの電池が切れた場合は、インターバル撮影は終了します。コントローラーの電池が切れた場合は、インターバル撮影は継続します。撮影を終了する場合は、カメラの【⏻】(電源)を長押ししてください。
- 手動で撮影しているときや、スリープモードから復帰しているときにインターバル撮影で撮影するタイミングになった場合は、そのタイミングでの撮影は行われず、次のタイミングで撮影されます。
- スリープモードから復帰しているときにコントローラーの【⏻】(電源)を押すと、スリープモードに戻り、インターバル撮影が再開します。

■ インターバル撮影を終了する

1. コントローラーのいずれかのボタンを押してスリープモードから復帰させる
2. “**i**”をタッチする
3. “終了”をタッチする
インターバル撮影が終了します。

■ インターバル撮影中に手動で撮影する

インターバル撮影中でも、自分が撮りたいタイミングで静止画や動画を撮影できます。

1. コントローラーのいずれかのボタンを押してスリープモードから復帰させる
2. コントローラーまたはカメラを操作して撮影する

シャッター:被写体や撮影環境などをカメラが自動的に判断して静止画を撮影します。
【●】(ムービー):メニュー画面の“最大録画時間”(38ページ)で設定した時間、動画を撮影します。“最大録画時間”を“OFF”にした場合は、再度【●】(ムービー)を押して撮影を終了してください。

参考

- スリープモードのときでも、カメラのシャッターまたは【●】(ムービー)を押して静止画や動画を撮影できます。その場合は、以下の設定で撮影されます。
静止画:インターバル撮影時と同じ設定で撮影します。
動画:5秒間撮影します。ただし、“間隔”を“5 sec”に設定した場合、動画の撮影時間は2秒間になります(33ページ)。

撮影モードを切り替えて撮影する

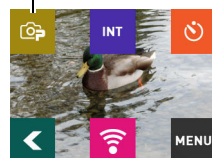
本機は、プレミアムオートに加え、印象的な写真に仕上げることができるアートショットのシーンを5種類搭載しています。

1. カメラとコントローラーの電源を入れる(23ページ)




2. 撮影モードのメイン画面で「」(ホーム)アイコンをタッチする

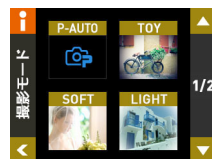
3. ホーム画面左上の撮影モードアイコンをタッチする

撮影モードアイコン



4. 使用したい撮影モードのアイコンをタッチする

- 「」」をタッチすると画面をスクロールできます。
- 画面左上に表示される「」をタッチしてから撮影モードのアイコンをタッチすると、その撮影モードの詳細内容が表示されます。



P-AUTO (プレミアムオート)		被写体や撮影環境などをカメラが自動的に判断し、高画質で撮影します(30ページ)。
アート シ ョ ッ ト	TOY (トイカメラ)	周辺を暗くして、色合いを変えてトイカメラ風に仕上げます。
	SOFT (ソフトフォーカス)	全体をぼかし、やわらかく幻想的に仕上げます。
	LIGHT (ライトトーン)	コントラストを弱めに、上品で落ち着いた雰囲気仕上げます。
	SEPIA(セピア)	セピアカラーにして、レトロ風に仕上げます。
	MONO (モノクロ)	コントラストを強調し、粒状感をつけ、印象的に仕上げます。

5. シャッターを押して撮影する

参考

- アートショットのシーンでは、オートフォーカスで撮影されます。
- アートショットのシーンでの動画撮影にはアート効果がかかりません。
- アートショットのシーンでは、メイクアップの設定はできません。


■ オートフォーカスの制限事項

- 次のような被写体に対しては、ピントが正確に合わないことがあります。
 - 階調のない壁など、コントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 明るく光っている被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 手ブレをしているとき
 - 動きの速い被写体
 - 撮影範囲外の被写体

セルフタイマーを使って撮影する(セルフタイマー)

セルフタイマーを使用すると、5秒後に静止画が撮影されます。

1. 撮影モードのメイン画面で“” (ホーム) アイコンをタッチする

2. ホーム画面の“” (セルフタイマー) アイコンをタッチする

セルフタイマーのカウントダウンが始まり、5秒後に静止画が撮影されます。

- カメラとコントローラーの通信状況によっては、カウントダウンの時間が若干ずれることがあります。

ズーム撮影する

本機にはデジタルズームが搭載されていて、4倍まで拡大できます。なお、デジタルズームは画像中央をデジタル処理によって拡大するので、画質の劣化が起こります。

1. 撮影モードのメイン画面で“ZOOM” (ズーム) アイコンをタッチする

- 2本の指でタッチしながら広げるまたは狭めることによってズーム画面を表示することもできます。

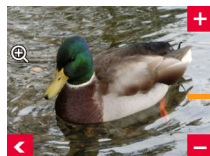
2. “+” “-” をタッチしてズームを操作する



+ (望遠)



- (広角)



+ (望遠): 被写体が大きくなり、写る範囲が狭くなります。

- (広角): 被写体が小さくなり、写る範囲が広がります。

3. ズームの倍率が決まったら、“◀” をタッチする

4. シャッターを押して撮影する




参考

- 望遠で撮影するときは、手ブレがおきやすくなるため、カメラを平らなところに置くなどして、固定させて撮影することをおすすめします。
- インターバル撮影中はズーム操作はできません。
- デジタルズーム中は、“@” が表示されます。

動画を撮影する

本機では、高精細な動画(フルビジョン動画)を撮影できます。動画の画質は以下のとおりです。



動画画質	Full HD
撮影速度(フレームレート)	30fps
画像サイズ(pixels)	1920×1080
アスペクト比	16:9

1. 撮影モードを“プレミアムオート”に設定する
2. 撮影モードのメイン画面で“” (ホーム)アイコンをタッチする
3. ホーム画面で“MENU”をタッチする
4. “” “” をタッチして“最大録画時間”を表示させ、タッチする
5. 撮影したい時間をタッチする

15sec	15秒間撮影したあと、撮影が自動で終了します。
OFF	最長29分間撮影できます。

6. (ムービー)を押す

撮影が開始されます。

- 撮影を途中で終了する場合は、 (ムービー)を押してください。
- 撮影可能な動画は、1ファイル最長29分間です。手順5で“OFF”を選んだ場合でも、29分を超えると自動的に撮影は終了します。
- 動画の撮影では、撮影開始時にオートフォーカスを行い、ピントを固定します。被写体が近距離のときは、画面に“” (近距離表示)が表示されます。

参考

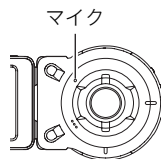
- アートショットのシーンでの動画撮影にはアート効果がかかりません。

動画撮影時の手ブレ補正

動画撮影中は、常にブレ補正の機能が働きます。ただし、ブレ補正ができるのは手ブレだけで、被写体ブレには効果ありません。また、画角が狭くなります。

重要

- 動画を長時間撮影した場合、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 音声も同時に記録されますので、次の点に注意してください。
 - 指などでマイクをふさがないでください。
 - 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
- 高い気温など高温の環境で動画を長時間撮影した場合、撮影画像にノイズ(輝点)が入ることがあります。また、内部温度の上昇により動画撮影の途中で強制的に動画撮影が終了する場合があります。その場合は本機の温度が下がってから動画撮影を行うようにしてください。
- 内蔵メモリー使用時やメモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合がありますので、できるだけ超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。ただし、超高速タイプのメモリーカードであっても、すべての動作を保証することはできません。また、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。



参考

- 動画撮影中は、ズーム操作はできません。ズームを使いたいときは、【●】(ムービー)を押す前にズーム操作をしてください。

よりよい撮影のための設定

本機では、メニューを操作してさまざまな設定ができます。

■ メニュー画面の操作例



1. 撮影モードのメイン画面で“” (ホーム)アイコンをタッチする


2. ホーム画面の“MENU”をタッチする

メニュー画面が表示されます。

- メニューの内容は、撮影モードと再生モードで異なります。





3. 画面を上下にフリック、または“” “”をタッチして設定したい項目を表示させる

- “”をタッチまたはコントローラーのシャッターを押すと、メニュー操作を中断してメニューを消します。

4. 設定したい項目をタッチする

5. 画面の表示に従って内容を設定する

- “”をタッチすると、1つ前の階層に戻ります。

6. 設定が終了したら“”を押して、メイン画面までもどる

- 設定した内容は、メイン画面に戻ると有効になります。

参考

- 撮影モードによって使用できないメニュー項目があります。

■ メニュー操作の本書記載について

本書ではメニュー操作の手順を下記のように記載します。記載の順に画面をタッチしてください。

操作手順: 撮影モードにする →  → MENU → タッチシャッター

人物の顔を美しく撮影する(メイクアップ)

操作手順: 撮影モードにする →  → MENU → メイクアップ

“ON”にすると、人物の肌のコンディションをなめらかに整えたり、日差しによる顔の影をやわらげたりして、人物の顔を美しく撮影することができます。

画面をタッチして撮影する(タッチシャッター)

操作手順: 撮影モードにする →  → MENU → タッチシャッター

画面をタッチして静止画を撮影することができます。

1. “ON”をタッチする

2. カメラを被写体に向ける

3. 撮りたいタイミングで、画面をタッチする

ピントが合い、撮影されます。

- タッチシャッターを“ON”に設定していても、シャッターを押して撮影することができます。

参考

- 画面の中央をタッチしてください、画面の周囲をタッチしてもシャッターは切れません。
- 画面を長押しするとタッチシャッターは動作しません。短い時間でタッチしてください。
- ピントは触った位置に合うわけではなく、カメラが判断した場所にピントを合わせます。

静止画サイズを変更する(静止画サイズ)

操作手順: 撮影モードにする →  → MENU → 静止画サイズ

撮影する静止画の画像サイズを設定できます。

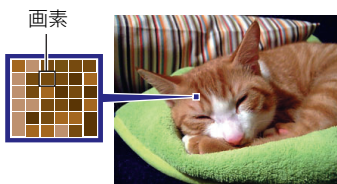
画素数(pixels)	撮影画面の表示	プリント時の用紙サイズの目安や用途	特徴
14M (4320×3240)	14M	ポスター プリント	精細な画像が得られ、パソコンなどでトリミングしても画像が粗くなりにくいです。
16:9 (4320×2432)	16:9	ポスター プリント	
5M (2560×1920)	5M	A4プリント	精細な画像が得られます。

- お買い上げいただいたときは、14M(1400万画素・pixels)で撮影するように設定されています。
- プリント用紙のサイズは、あくまでも参考のサイズとお考えください(印刷解像度が200dpiの場合)。

■ 画素数と画像サイズについて

デジタルカメラの画像は、小さな点(画素・pixels)の集まりでできています。

画素数は、数が多いほど精細な写真が撮れますが、サービスサイズ(L版)へのプリント、Eメールに添付して送る、パソコンの画面で見る、などの用途では画素数が少なくても良い場合があります。その画像がいくつの画素でできているかを示すものが画像サイズで、横×縦の画素数で表します。



例：

画像サイズ	画素数
14M	4320×3240(約1400万画素)
5M	2560×1920(約500万画素)


- 画像サイズが大きいほど画素数が多くなり、メモリーに保存できる枚数が少なくなります。
- 画像サイズ、画質と保存できる枚数→98ページ
- 動画の画像サイズについて→98ページ

動画の撮影時間を設定する(最大録画時間)

操作手順：撮影モードにする →  → MENU → 最大録画時間

詳しくは38ページをご覧ください。

明るさを補正して撮影する(EVシフト)

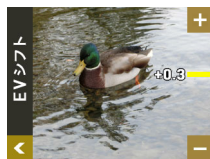
操作手順: 撮影モードにする →  → MENU → EVシフト

撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を手動で補正することができます。

- 露出補正值: -2.0EV~+2.0EV
- 補正単位: 1/3EV

1. “+”“-”をタッチして、明るさを調整する

- 露出補正值を元に戻したいときは、“0.0”に設定してください。



-方向に補正。黒い物の撮影や晴天の野外などの撮影に向きます。

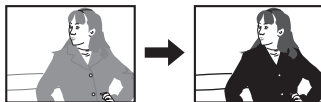
2. “◀”(戻る)をタッチして、メイン画面まで戻る

3. シャッターを押して撮影する

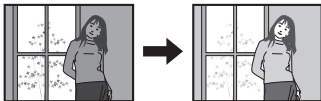
次に露出補正を変えるまで、設定した露出補正值で撮影できます。ただし、電源を切ると設定は“0.0”に戻ります。

参考

- 明るすぎたり、暗すぎたりするときは、露出補正ができない場合があります。



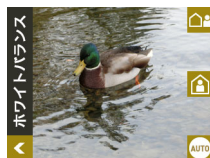
+方向に補正。白い物の撮影や逆光での撮影に向きます。



色合いを調整して撮影する(ホワイトバランス)







操作手順: 撮影モードにする →  → MENU → ホワイトバランス

屋外で撮影すると被写体が青っぽく写る、または屋内で撮影すると被写体が緑がかった写るなどの現象を防ぎ、光源に合わせて被写体を自然な色合いで撮影できるように調整します。



1. 設定したい撮影条件をタッチする

タッチした撮影条件を、液晶モニターで確認できます。


設定項目	撮影画面のアイコン表示	設定内容
 (オート)		自動的にホワイトバランスを調整
 (屋外)		屋外での撮影用
 (屋内)		屋内での撮影用

- “オート”では、被写体の中から白色点を自動的に判断します。被写体の色や光源の状況によってはカメラが白色点の判断に迷い、適切なホワイトバランスに調整されないことがあります。この場合は、他の撮影条件を指定してください。

2. “” (戻る) をタッチして、メイン画面まで戻る

3. シャッターを押して撮影する

カメラの向きを判断して画像を表示する(自動回転)

操作手順: 撮影モードにする →  → MENU → 自動回転

“ON”にすると、撮影モードのときにカメラの向きを判断して、天地方向が正しくなるように補正されます。この機能を“ON”にして撮影した場合は、画像を再生するときも補正後の向きで表示されます。

“OFF”にすると、カメラの向きのまま、撮影できます。

参考

- この機能を“ON”にした場合、カメラを180度回転して撮影すると保存される画像も180度回転します。それ以外の向きで撮影した場合は、画像は撮影時の向きで保存されません。


自分撮りをする(鏡面反転)

操作手順: 撮影モードにする →  → MENU → 鏡面反転

“ON”にすると、コントローラーに表示される映像が左右反転します。コントローラーで構図を確認しながら自分撮りをするときに便利です。なお、記録される画像は鏡面反転しません。



参考

- 撮影モードのメイン画面表示中に、左右にフリックして画像を反転することもできます。
- 左右反転しているときは、メイン画面に  が表示されます。

静止画や動画を再生する

再生モードの画面について

再生モード中は、コントローラーの画面で撮影した画像を確認できます。カメラのシャッターや【●】(ムービー)を押すと静止画や動画を撮影することができます。


■ メイン画面

撮影モードから再生モードに切り替えたとときに表示されます。

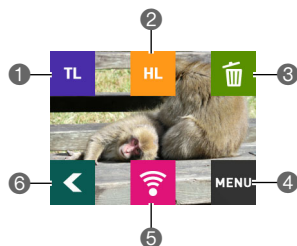
- ① 一覧表示 (50ページ)
- ② 情報表示切り替え (9ページ)
- ③ 撮影モード切り替え (25ページ)
- ④ ホーム画面表示



■ ホーム画面

メイン画面の“” (ホーム)アイコンをタッチすると表示されます。

- ① タイムラプス (51ページ)
- ② ハイライト機能 (53、54、56ページ)
- ③ 消去 (49ページ)
- ④ メニュー (50、63ページ)
- ⑤ 無線モード (57ページ)
- ⑥ メイン画面表示



撮影した静止画を見る

撮影した静止画を液晶モニターで見ることができます。

- 動画の再生方法については48ページをご覧ください。

1. 撮影モードのメイン画面で「▶」(再生)をタッチまたは画面を上下にフリックして、再生モードにする

記録されている静止画の1つが液晶モニターに表示されます。

- 表示されている静止画についての情報も表示されず(9ページ)。
- 情報表示を消して、静止画だけを見ることもできます(9ページ)。
- 液晶モニターをタッチして、画像を拡大して表示できます(49ページ)。

撮影モードのメイン画面



▶ (再生)

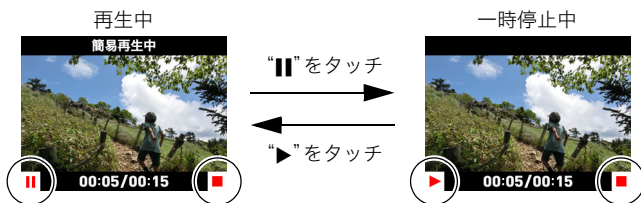
2. 画面を左右にフリックして、再生したい静止画を表示させる。

参考

- 再生モード時やメニュー画面を表示している最中にコントローラーのシャッターを押すと、撮影モードに切り替わります。
- 再生できない画像には“?”が表示されることがあります。

撮影した動画を見る

1. 撮影モードのメイン画面で“▶” (再生) をタッチ、または上下にフリックして、再生モードにする
2. 画面を左右にフリックして、再生したい動画(ムービー)を表示させる
3. “▶” (動画再生) をタッチして、再生を始める
 - 再生を途中でやめる場合は、“■” をタッチしてください。



- 動画を本機で再生すると、カメラのスピーカーから音声再生されます。再生される音声と映像に差が生じますが、記録された動画ファイル自体には問題はありません。また、映像については、低フレームレートで簡易再生されます。動画を鑑賞する場合は、動画をスマートフォンに送信してご覧いただくことをおすすめします。

撮影した静止画や動画を消去する


メモリーがいっぱいになっても、撮影した静止画や動画を消去することによりメモリーの残り容量を確保して、また新しい写真撮影ができるようになります。


重要

- 消去したファイルは元に戻せません。

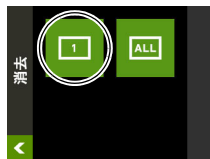
■ 1ファイルずつ消去する


1. 再生モードのメイン画面で“” (ホーム) アイコンをタッチする

2. “” (消去) アイコンをタッチする

3. “” (1ファイル消去) をタッチする


4. 画面を左右にフリックして、消去したい画像を表示する





5. “” (消去) をタッチする

選んだ画像が消去されます。

■ すべてのファイルを消去する

1. 再生モードにして“” (ホーム) アイコンをタッチする

2. “” (消去) をタッチする

3. “” をタッチする

4. “消去” をタッチする

すべてのファイルが消去され、“ファイルがありません”と表示されます。

画像を拡大して表示する

静止画を2倍まで拡大して表示できます。

1. 再生モードのメイン画面で、左右にフリックして再生したい画像を表示させる

2. 2本の指でタッチしながら指を広げる (17ページ)

画像が拡大表示されます。



- 画面の中央をタッチしても画像を拡大表示することができません。
- 画面をフリックして、拡大表示される位置を変えることができます。
- 2本の指でタッチしながら指を狭めると、通常の表示に戻ります (17ページ)。

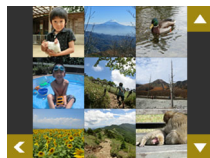
画像を一覧表示する

複数の画像を一度に表示できます。

1. 再生モードのメイン画面で、“”をタッチする

画像が一覧表示されます。

- 再生モードのメイン画面を表示中に2本の指でタッチしながら狭めることによって、画像を一覧表示することもできます。
- “” “”をタッチ、または画面を上下にフリックすると、前後の画像を表示します。
- 通常表示(1枚表示)で見たいときは、見たい画像をタッチしてください。
- 動画は先頭の画像が表示されます。
- 再生できない画像には“?”が表示されることがあります。




画像を回転させる(回転表示)

1. 再生モードのメイン画面で“” (ホーム)アイコンをタッチする

2. ホーム画面の“MENU”をタッチする

3. “回転表示”をタッチする

4. “”をタッチする

“”をタッチすることにより、90° 左回りに回転します。

5. 希望の表示状態になったら“”をタッチする


参考


- メニュー画面の操作については、40ページをご覧ください。

タイムラプス動画を作成する(タイムラプス)

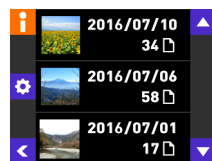
日付ごとに静止画を撮影した順につなぎ合わせて、最長で10分間のタイムラプス動画を作成します。

1. 再生モードのメイン画面で“” (ホーム)アイコンをタッチする

2. ホーム画面の“” (タイムラプス)アイコンをタッチする


3. “”をタッチする



をタッチすると、この機能の説明が表示されます。



4. 項目をタッチして設定を変更する

再生速度	画像1枚あたりの再生時間を選びます。“低速”にすると、1枚あたりの再生時間が長くなり、“高速”にすると、1枚あたりの再生時間が短くなります。
音楽	BGMを選びます。

5. 設定が完了したら、“” (戻る)をタッチして手順3の画面に戻る

6. “” “”でタイムラプス動画にしたい画像の撮影日を表示してタッチする

7. タイムラプス動画の変換方法をタッチする

全インターバル画像: インターバル撮影ごとにタイムラプス動画を作成します。

最新インターバル画像: 最後にインターバル撮影した画像のみを使って、タイムラプス動画を作成します。

全画像: すべての画像を使って、タイムラプス動画を作成します。

8. “はい”をタッチする

タイムラプス動画が作成・表示されます。

・タイムラプス動画を作成中に“キャンセル”をタッチすると、タイムラプス動画の作成が中断し、その時点で作成済みの動画が保存されます。











- 作成される動画の画質はFHD、アスペクト比は16:9になります。加工前の画像のアスペクト比が16:9以外の場合は、画像の上下が自動でカットされます。
- 縦向きの画像の場合は、画像の左右に黒い帯が付きます。
- 画像の枚数が多い場合は、タイムラプス動画が10分になったところでこの機能が終了し、それ以降の画像はタイムラプス動画に変換されません。
- 日付をまたいでインターバル撮影を行った場合は、指定した日に撮影した画像のみがタイムラプス動画に変換されます。
- ハイライトフォトやハイライトムービーは、タイムラプス動画に含まれません。
- 電池残量が少ない場合は、タイムラプス動画を作成できない場合があります。
- 電池残量が少ない場合は、タイムラプス動画が作成されず、不要なファイルがメモリー内に作成される場合があります。そのファイルはカメラをパソコンに接続して削除してください(68ページ)。不要なファイルの拡張子は「JPG」、「MOV」以外で、データサイズは0バイトです。
- 作成時の条件によって、タイムラプス動画の作成に時間がかかる場合があります。

1日のできごとを1枚の画像にする(ハイライトフォト)

日付ごとにおすすめの静止画が選択され、1枚の静止画に合成できます。静止画は、“ハイライトスコア”機能で付けた点数や撮影時の情報などをもとに自動的に選ばれます。

- ハイライトスコアの点数は、“ハイライトスコア”機能(56ページ)で変更できます。



1. 再生モードのメイン画面で“” (ホーム) アイコンをタッチする
2. ホーム画面の“” (ハイライト機能) アイコンをタッチする
3. “” をタッチする
4. “” “” で使用したい画像の撮影日を表示してタッチする
 - “” をタッチすると、この機能の説明が表示されます。
5. “” “” で使用したいレイアウトを表示してタッチする
6. “決定” をタッチする
画像が表示・保存されます。
 - 画像が保存されたあとに表示される画面には、“” (シャッフル) アイコンが表示されます。このアイコンをタッチすると、静止画がシャッフルされ、新しいハイライトフォトが作成・保存されます。
7. “” (再生) をタッチして終了する

参考


- “ハイライトスコア”機能(56ページ)で“-1”に設定した画像は使用されません。
- ハイライトフォトの作成を開始すると、途中でキャンセルできません。
- メモリーカードに、同じ撮影日の静止画が10000枚以上保存されている場合、ハイライトフォトに使用される静止画は、1~9999番目から選ばれます。
- 電池残量が少ない場合は、ハイライトフォトを作成できない場合があります。


1日のできごとを動画にする(ハイライトムービー)


日付ごとにおすすめの静止画や動画が選択され、1つのムービー(動画)に編集します。画像は、“ハイライトスコア”機能で付けた点数や撮影時の情報などをもとに自動的に選ばれます。


- ハイライトスコアの点数は、“ハイライトスコア”機能(56ページ)で変更できます。
- 撮影時の情報やハイライトスコアの点数によって、画像の再生時間や効果が決まります。

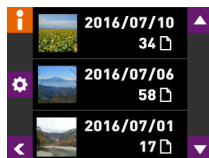
1. 再生モードのメイン画面で“” (ホーム)アイコンをタッチする

2. ホーム画面の“” (ハイライト機能)アイコンをタッチする

3. “” (ハイライトムービー)アイコンをタッチする


4. “”をタッチする



- “”をタッチすると、この機能の説明が表示されます。



5. 項目をタッチして設定を変更する

対象画像	ハイライトムービーにする画像の種類を選びます。
最大再生時間	作成される動画の再生時間を選びます。
音楽	BGMを選びます。

6. 設定が完了したら、“” (戻る)をタッチして手順4の画面に戻る

7. “” “”で動画にしたい画像の撮影日を表示してタッチする

8. “はい”をタッチする




動画が作成・表示されます。

- ハイライトムービーを作成中に“キャンセル”をタッチすると、ハイライトムービーの作成が中断し、その時点で作成済みの動画が保存されます。

- “ハイライトスコア”機能(56ページ)で“-1”に設定した画像は使用されません。
- 作成される動画の画質はFHD、アスペクト比は16:9になります。加工前の画像のアスペクト比が16:9以外の場合は、画像の上下が自動でカットされます。
- 縦向き画像の場合は、画像の左右に黒い帯が付きます。
- 同じ撮影日の静止画と動画の合計が10000ファイル以上ある場合、ハイライトムービーに使用される静止画と動画は、1～9999番目のファイルから選ばれます。
- 電池残量が少ない場合は、ハイライトムービーを作成できない場合があります。
- 電池残量が少ない場合は、ハイライトムービーが作成されず、不要なファイルがメモリー内に作成される場合があります。そのファイルはカメラをパソコンに接続して削除してください(68ページ)。不要なファイルの拡張子は「JPG」、「MOV」以外で、データサイズは0バイトです。
- 作成時の条件によって、ハイライトムービーの作成に時間がかかる場合があります。
- ハイライトムービーに使用する動画は、本機で撮影した動画のみ選ばれます。
- 自動的に選択された画像によって、作成した動画が最大再生時間に達しない、または超える場合があります。


画像を評価する(ハイライトスコア)

以下の手順で画像のハイライトスコアの点数を変更できます。



ハイライトスコア	内容
	初期値です。 この点数の画像は、ハイライトフォトやハイライトムービーに使用される可能性があります。
	この点数の画像は優先的にハイライトフォトやハイライトムービーに使用されます。
	この点数の画像は、ハイライトフォトやハイライトムービーに使用されません。


1. 再生モードのメイン画面で“” (ホーム)アイコンをタッチする


2. ホーム画面の“” (ハイライト機能)アイコンをタッチする

3. “” (ハイライトスコア)アイコンをタッチする

4. 画面を左右にフリックして、ハイライトスコアを変更したい画像を表示する

5. “” “” をタッチして表示している画像の点数を変更する

- “” をタッチすると、この機能の説明が表示されます。

6. 画像を評価したら、“” をタッチしてメイン画面まで戻る



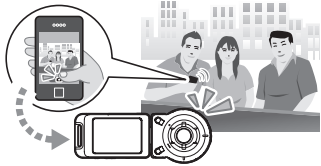
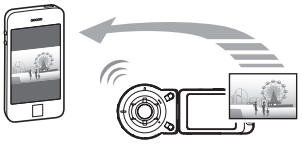

参考

- ハイライトスコア機能は、本機で撮影した静止画と動画にのみ使用できます。

カメラとスマートフォンを接続して楽しむ (無線LAN)

スマートフォンにつないでできること

スマートフォン(またはタブレット端末)をカメラに無線LANで接続すると、次のことができます。操作には、スマートフォンに専用アプリ“EXILIM Link”をインストールする必要があります。

できること	内容	参照 ページ
リモート撮影 	スマートフォンを使用して、離れたところからカメラを操作して撮影できます。	62
現在表示している画像を スマートフォンに送る 	再生モードで表示している画像(動画を含む)を、スマートフォンに送ることができます。	62
画像を選んでスマートフォンに送る 	カメラで撮影した静止画や動画をスマートフォンのアプリで選んでスマートフォンに送信できます。	62

★ 重要

- 無線LAN機能は、航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。
- スマートフォンの機種によっては、受け取った動画をスマートフォンで再生できないことがあります。
- スマートフォン、OSのバージョン、ストレージの空き状況によって、動画や静止画がスマートフォンに保存されないことがあります。スマートフォンで画像を受信したあとは、スマートフォンで保存されていることを確認してください。

- 無線LANの機能を使用すると、通常よりも消費電力が大きくなります。電池が十分に残っている状態で使用してください。
- 操作可能範囲は、通信環境や接続するスマートフォンの機種によって変わります。

■ EXILIM Linkについて

専用アプリ“EXILIM Link”の詳しい情報については、EXILIM Linkの取扱説明書(下記のWebサイトからダウンロードすることができます)を参照ください。

<http://www.exilim.com/manual/>

- EXILIM Linkの取扱説明書をダウンロードする場合は、最初に言語(Japanese/日本語)を選択してください。
- EXILIM Linkの取扱説明書を見るためにはAdobe Reader をインストールする必要があります。取扱説明書を見ることができない場合は、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

スマートフォンをカメラに接続する

お使いのスマートフォンに専用アプリ“EXILIM Link”をインストールすると、スマートフォンをカメラのリモコンとして使ったり、撮影した画像をスマートフォンに転送できます。専用アプリ“EXILIM Link”は、Google Play (Android) またはApp Store (iOS) から“EXILIM Link”を検索し、スマートフォン(またはタブレット端末)にアプリをインストールしてください。

■ アプリの動作保証について

EXILIM Link(アプリ)は、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。

重要

- アプリのバージョンが最新であることをご確認の上ご利用ください。
- アプリが対応しているOSのバージョンは、Google PlayおよびApp Storeで確認してください。
- アプリの機能および動作環境は、予告なしで変更される場合があります。

本製品には電波法に基づく工事設計認証(認証番号:201-140149)を受けた特定無線設備を内蔵しています。

お使いのスマートフォンに専用アプリ“EXILIM Link”をインストールする

■ Android端末の場合

1. “Google Play”を開く

2. 検索フィールドに“EXILIM Link”と入力する

3. “EXILIM Link”をインストールする

■ iPhone(iOS)の場合

1. “App Store”を開く

2. 検索フィールドに“EXILIM Link”と入力する

3. “EXILIM Link”をインストールする

最初に無線LANに接続してSSIDとパスワードを変更する


スマートフォンをカメラに初めて無線LAN接続する場合には、以下の手順で、SSIDとパスワードを必ず変更する必要があります。購入後の本機のSSIDとパスワードの初期値はすべて共通となっています。そのため、SSIDとパスワードをせずに同じ場所で本機を複数台使用した場合などは、間違っただけの機器に接続したり、情報(画像等)が盗み見られたりする恐れがあります。

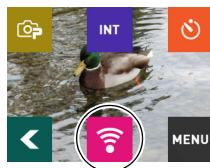
- この操作は初回のみ必要になります。

1. カメラを撮影モードにする

2. コントローラーでホーム画面を表示して“”をタップする

スマートフォンから接続できる状態になります。

- この状態のときは、カメラのシャッターや【●】(ムービー)を押しても撮影できません。
- カメラを操作してスマートフォンから接続できる状態にすることもできます。
 - ①カメラの電源を切る
 - ②カメラの動作確認ランプが緑色に点滅するまで、カメラの【●】(ムービー)を押したまま【】(電源)を押し続けます。



3. スマートフォンのWi-Fiの設定にカメラのSSIDとパスワードを入力する

スマートフォンとカメラが無線LANで接続されます。

- SSIDとパスワードの初期設定値は以下のとおりです。
SSID:FR10 Camera
パスワード:00000000
- 無線LANで接続するための設定方法は、スマートフォンによって異なります。無線LAN(Wi-Fi)の接続方法については、お使いのスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

4. スマートフォンで“EXILIM Link”を起動する

5. スマートフォンで“接続開始”をタップする

カメラの動作確認ランプが緑色に点灯し、アプリを使用できるようになります。

- 初めてアプリを起動したときは、アプリの利用規約が表示されます。内容を確認して“同意する”をタップしてください。

6. “”をタップする

7. 新しいSSIDとパスワードを入力する


- SSIDとパスワードは、8～32文字の半角英数字と記号で入力してください。

8. “OK”をタップする

- 新しいSSIDとパスワードは、次回カメラの電源を入れたときから有効になります。



参考

- SSIDとパスワードを変更したあとは、スマートフォンのWi-Fiの設定も変更してください。
- 変更したSSIDとパスワードを忘れた場合は、以下の手順でカメラのSSIDとパスワードを初期値に戻すことができます。
 - ①カメラの電源を切る
 - ②カメラの【●】(ムービー)とシャッターを押したまま【】(電源)を6秒間押し続ける動作確認ランプが、オレンジ色に5秒程度点滅したら完了です。

重要

- スマートフォンのWi-Fiの設定画面で無線LAN接続を解除すると、カメラは接続待機状態になります。この状態が3分間続くとコントローラーの状態に応じて、カメラが撮影モードになる、またはカメラの電源が自動で切れます。

無線LAN接続を解除する

専用アプリ“EXILIM Link”が起動していない状態やアプリがバックグラウンドで動いている状態でも、カメラとスマートフォンは無線LANで接続されたままになります。無線LANで接続したままにしておく、カメラの電池寿命が短くなったり、カメラの温度が上昇します。無線LAN機能を使用しない場合は、無線LAN接続を解除してください。

1. コントローラーの画面をフリックする

2. “はい”をタッチする

カメラとスマートフォンの無線LAN接続が解除します。

参考


- アプリを終了してカメラの電源を切ることで、無線LAN接続を解除することもできます。

スマートフォンをカメラのリモコンとして使う

スマートフォンを使用して、離れたところからカメラを操作して撮影できます(リモート撮影)。スマートフォンからは、静止画や動画の撮影だけでなく、ズームやセルフタイマーなどの操作もできます。

1. スマートフォンで“EXILIM Link”を起動する

2. カメラを撮影モードにする

3. コントローラーでホーム画面を表示して“”をタップする

- 以降、リモート撮影の使用方法については、EXILIM Linkの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。


現在表示している画像をスマートフォンに送る(表示画像を送る)

再生モードで表示している画像(動画を含む)を、スマートフォンに送ることができます。

1. スマートフォンで“EXILIM Link”を起動する

2. カメラを再生モードにする

3. コントローラーの画面を左右にフリックして、スマートフォンに送りたい画像を表示する

4. コントローラーでホーム画面を表示して“”をタップする

5. コントローラーで“スマートフォンに表示画像を送る”をタッチする


- 以降、カメラの画像をスマートフォンに送る方法については、EXILIM Linkの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。

カメラで撮影した画像を選んでスマートフォンに送る

カメラで撮影した静止画や動画をスマートフォンのアプリで選んで、スマートフォンに送信できます。一度に送信できるファイルは99枚、または合計容量が1500MBまでです。

1. スマートフォンで“EXILIM Link”を起動する

2. カメラを再生モードにする

3. コントローラーでホーム画面を表示して“”をタップする

4. コントローラーで“スマートフォンのアプリで選択する”をタッチする


- 以降、カメラの画像をスマートフォンに送る方法については、EXILIM Linkの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。

その他の設定について

ここでは撮影モードと再生モードのどちらでも操作や設定ができるメニュー項目について説明します。

メニューの操作については、40ページをご覧ください。




コントローラーの画面の向きを固定する(画面ロック)

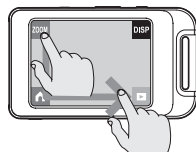
操作手順:  → MENU → セットアップ → 画面ロック

コントローラーを動かしても、画面に表示されるアイコンの向きなどが変わらないようにすることができます。


ON	“ON”にしたときのコントローラーの向きに、画面の表示が固定されます。
OFF	コントローラーの向きに合わせて画面が回転します。

参考

- この機能の“ON”と“OFF”を、撮影モードのメイン画面のときに、**ZOOM** (ズーム)アイコン →  (ホーム)アイコン →  (再生)の順にドラッグして切り替えることもできます。コントローラーを縦に持った場合は、 (ホーム)アイコン →  (再生) → “DISP”の順にドラッグしてください。



カメラの音を設定する(カメラ音)


操作手順:  → MENU → セットアップ → カメラ音

電源を入れたときや撮影時、およびエラーが起こったときなどの音の大きさが調節できます。

HIGH	大きい
LOW	小さい

- 設定に関わらず、インターバル撮影で画像を自動で撮影中は、撮影音は鳴りません。


バイブレーション機能を使う(バイブレーション)

操作手順:  → MENU → セットアップ → バイブレーション

“ON”にすると、以下のときにコントローラーが振動します。


- 撮影直後に撮影した画像がコントローラーの画面にレビュー表示されたとき
- カメラとコントローラーの通信が切断したとき
- エラーが起こったとき

フリック動作でコントローラー表示を復帰する(フリック起動)

操作手順:  → MENU → セットアップ → フリック起動

“ON”にすると、コントローラーがスリープモード(24ページ)のときに画面をフリックすることで、スリープモードが解除され、コントローラーの表示が戻ります。

カメラの日時を設定し直す(日時設定)

操作手順:  → MENU → セットアップ → 日時設定

日時を変更できます。

1. 変更したい値(年、月、日、時、分)をタッチする


2. “▲” “▼”をタッチして、日時を合わせる

- 入力できる日付は、2001年～2049年です。
- 12時間/24時間表示を切り替えるには、“am(pm)”/“24h”を選び、“▲” “▼”をタッチします。
- “▲” “▼”をタッチし続けると、早送りできます。



3. “決定”をタッチする

日付の表示の並びを変える(表示スタイル)


操作手順:  → MENU → セットアップ → 表示スタイル

画面に表示される日付の表示スタイルを3つの中から選ぶことができます。

例) 2016年7月10日

年/月/日	16/7/10
日/月/年	10/7/16
月/日/年	7/10/16

表示言語を切り替える(Language)

操作手順:  → MENU → セットアップ(Setup) → Language

画面のメッセージの言語を設定します。

■ 画面が外国語表示になってしまったとき


1. メニュー画面の“Setup”をタッチする

2. “Language”をタッチする

3. 画面を上下にフリックして“日本語”を表示させ、タッチする




コントローラーがスリープモードになるまでの時間を変える (スリープ)

操作手順:  → MENU → セットアップ → スリープ

コントローラーの画面の表示が消えてスリープモードになるまでの時間を設定します。設定時間は30秒(30 sec)または10分(10 min)から選ぶことができます。


メモリーをフォーマットする(フォーマット)

操作手順:  → MENU → セットアップ → フォーマット

カメラにメモリーカードが入っている場合はメモリーカードを、メモリーカードが入っていない場合は内蔵メモリーをフォーマットできます。

- フォーマットすると、メモリーの内容がすべて消去され、元に戻すことはできません。本来にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- 内蔵メモリーやメモリーカードをフォーマットした場合、フォーマットしたメモリー内のプロテクトされた画像も同時に消去されます。
- フォーマットするときは、電池残量が十分であることを確認してください。フォーマット中に電源が切れると、正しくフォーマットされず、カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。

各種設定を購入直後の設定に戻す(リセット)


操作手順:  → MENU → セットアップ → リセット

購入直後の設定(初期値)については、91ページを参照ください。

下記の項目は、リセットしても初期値に戻りません。

日時設定、表示スタイル、Language

カメラのファームウェアのバージョンを確認する (バージョン情報)

操作手順:  → MENU → セットアップ → バージョン情報

カメラに搭載されているファームウェアのバージョンが表示されます。

カメラのファームウェアをバージョンアップしたあとは、この画面をご確認ください。

プリント(印刷)する

お店で プリントする

画像が入ったメモリーカードを、**プリントサービスのお店**に持参してプリントします。



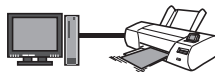
プリンターで プリントする

プリンターのスロットにメモリーカードを直接セットしてプリントできます。詳しくは、プリンターに付属の説明書に従って操作してください。



パソコンを使って プリントする

画像をパソコンに取り込んだ後、市販のプリントソフトを使ってプリントします。



パソコンを使って印刷する

パソコンに保存した画像を印刷する方法はさまざまですが、ここでは、一般的な印刷方法を説明します。

■ Windowsの場合

1. 「画像をパソコンに保存する／パソコンで見る」(69ページ)に従って、画像をパソコンに保存して、印刷したい画像を表示する

2. “印刷”→“印刷”の順でクリックする

3. 印刷内容を設定して、“印刷”をクリックする
選択した画像が印刷されます。

■ Macintoshの場合

1. 「画像をパソコンに保存する／パソコンで見る」(73ページ)に従って、画像をパソコンに保存して、印刷したい画像を表示する



2. “ファイル”→“プリント”の順でクリックする

3. 印刷内容を設定して、“プリント”をクリックする
選択した画像が印刷されます。

パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラをパソコンに接続して、次のことができます。

パソコンに画像を保存して見る		<ul style="list-style-type: none">• 手動でパソコンに保存して見ることができません (USB接続) (69、73ページ)。
動画を再生・編集する		<ul style="list-style-type: none">• 動画を再生することができます (72、74ページ)。• 動画を編集する場合は、必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。

操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(68ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(72ページ)

Windowsパソコンを利用する

使用目的	OSのバージョン	必要なソフト	参照ページ
パソコンに手動で画像を保存して表示	Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista	インストールする必要はありません。	69
動画の再生	Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista	QuickTime 7以降 • 必要に応じて、ダウンロードしてご利用ください。	72

画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

カメラをパソコンに接続して、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンに保存したり、パソコンで見ることができます。

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

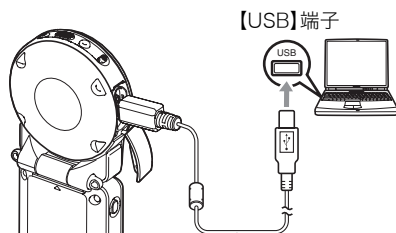
参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの電源を切り、付属のマイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- カメラとの詳しい接続方法、接続時の注意などについては、20ページをご覧ください。



マイクロUSBケーブル(付属品)

2. カメラの【**U**】(電源)を押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認ランプが赤点灯から緑点灯またはオレンジ点灯に切り替わりますので、確認してください(21ページ)。また、液晶モニターは点灯しません。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

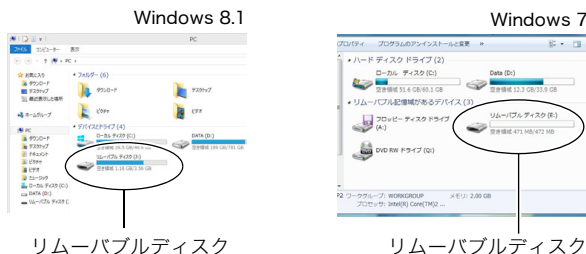
3. Windows 8.1/Windows 8: “デスクトップ” → “エクスプローラー”の順でクリックする

Windows 7/Windows Vista: “スタート” → “コンピューター”の順でクリックする



4. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



5. “DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックする



6. メニューの“コピー”をクリックする

7. Windows 8.1/Windows 8: “ドキュメント”をクリックする
Windows 7/Windows Vista: “スタート”→“ドキュメント”の順でクリックする

- すでに“DCIM”フォルダーが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダーの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

8. Windows 8.1/Windows 8: “ドキュメント”メニューで、“ホーム”→“貼り付け”の順でクリックする

Windows 7/Windows Vista: “ドキュメント”メニューで、“整理”または“編集”→“貼り付け”の順でクリックする

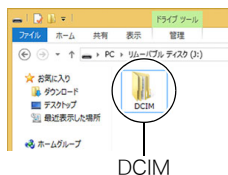
“DCIM”フォルダー(画像ファイルが保存されているフォルダー)が“ドキュメント”フォルダーにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

9. コピーが終了したらカメラをパソコンから外す

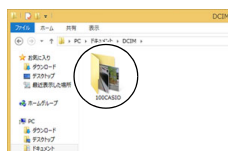
パソコンのモニター上に表示されるコピーや読み込みの進行中の表示が終了してから、表示している画像を閉じ、USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. コピーした“DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く



2. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く



3. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(76ページ)を参照ください。
- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。
- 連写およびインターバルグループをパソコンで見た場合、個別の画像で表示されます。グループ単位では表示されません。



動画を再生する

パソコンに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。ご使用のOSによっては再生できない場合があります。その際は別途ソフトをインストールする必要があります。

- 動画が再生できない場合は、下記アドレスからQuickTime 7以降をダウンロードし、パソコンにインストールして再生してください。
<http://www.apple.com/jp/quicktime/download/>

■ 動画再生時の動作環境

カメラで撮影した動画をパソコンで再生する場合、以下の動作環境を推奨します。

OS : Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista

CPU : Core 2 Duo 3.0GHz以上

必要なソフトウェア: QuickTime 7以降

- 上記の動作環境は推奨の環境であり、動作を保証するものではありません。
- 設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

■ 動画再生のご注意

- 必ず動画データはパソコンに保存してから再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は以下をお試しください。
 - 開いている他のソフトウェアを閉じたり、常駐ソフトを止める。

Macintoshを利用する

使用目的	OSのバージョン	必要なソフト	参照ページ
パソコンに手動で画像を保存して表示	OS X	インストールする必要はありません。	73
パソコンに自動的に画像を保存／画像の管理	OS X	一部のMac製品本体に付属のiPhoto	—
動画の再生	OS X 10.6以降	QuickTime Player (パソコンにインストール済み)	74

画像をパソコンに保存する/パソコンで見る

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。
- Mac OS Xの10.0～10.5ではご使用できません。10.6～10.10のみで使用できます(OS標準のUSBドライバーを使用)。

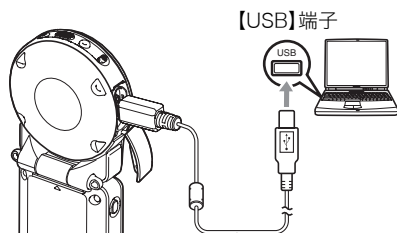
参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの電源を切り、付属のマイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- カメラとの詳しい接続方法、接続時の注意などについては、20ページをご覧ください。



マイクロUSBケーブル(付属品)

2. カメラの【】(電源)を押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認ランプが赤点灯から緑点灯またはオレンジ点灯に切り替わりますので、確認してください(21ページ)。

パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

3. 表示されたドライブをダブルクリックする

4. “DCIM” フォルダをデスクトップにドラッグアンドドロップして、画像をパソコンにコピーする



5. コピーが終了したらドライブを“取り出し”または“ゴミ箱”ヘドラッグアンドドロップする

6. カメラをパソコンから外す

パソコンのモニター上に表示されるコピーや読み込みの進行中の表示が終了してから、表示している画像を閉じ、USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. 表示されたドライブをダブルクリックする

2. “DCIM” フォルダをダブルクリックして、フォルダを開く

3. 見たい画像が入ったフォルダをダブルクリックして開く

4. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(76ページ)を参照ください。
- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

■ 動画を再生する

Macintoshに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。

■ 動画再生時の動作環境

カメラで撮影した動画をパソコンで再生する場合、以下の動作環境を推奨します。

OS : Mac OS X 10.6以降

必要なソフトウェア : QuickTime Player (パソコンにインストール済み)

- 上記の動作環境は推奨の環境であり、動作を保証するものではありません。
- 設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

■ 動画再生時のご注意

お使いのMacintoshの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は、以下をお試しください。

- 実行中の他のソフトウェアを終了する

重要

- 必ず動画データはパソコンに保存してから再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。

ファイルとフォルダーについて

本機では、撮影した静止画などのひとつひとつが個別のデータとして記録されます。個別のデータのことを「ファイル」と呼びます。各ファイルは、「フォルダー」と呼ばれるまとまりにグループ分けされます。ファイル、フォルダーには、区別のための名前が自動的に付きます。

- フォルダー構造の詳細は、「メモリー内のフォルダー構造」(76ページ)をご覧ください。

	名前と最大作成数	例
ファイル	“CIMG0001”から“CIMG9999”までで、最大9999個のファイルが1つのフォルダーに作成されます。拡張子は記録したファイルの形式によって異なります。	26番目に記録した ファイル名: CIMG0026.JPG └─┬─┘ 連番(4桁) 拡張子
フォルダー	“100CASIO”から“999CASIO”までで、最大900のフォルダーが作成されます。	連番100の フォルダー名: 100CASIO └─┘ 連番(3桁)

- フォルダー名、ファイル名は、パソコンで見ることができます。カメラの液晶モニターでの表示については、9ページをご覧ください。
- 保存できるフォルダー数、ファイル数は、サイズや画質、メモリーカードの容量によって異なります。

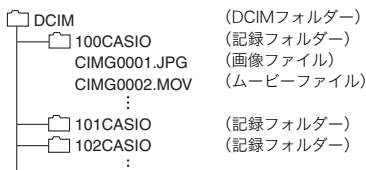
メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像は、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

■ DCF規格について

- 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見ることができます。
 - 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のプリンターで印刷することができます。
 - DCF規格対応の他社のカメラの画像を本機で見ることができます。
- ただし、上記項目の動作はすべて保証するものではありません。

■ メモリー内のフォルダー構造



■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンに保存する際は“DCIM”フォルダーごと保存してください。その際“DCIM”フォルダーの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンに保存したファイルをカメラに戻す場合は、フォルダー名をパソコン上で“DCIM”に戻しておいてください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダーは認識されません。“DCIM”フォルダー内の他のフォルダー名を変えた場合も同様です。
- フォルダーやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダー構造が76ページのフォルダー構造のとおりである必要があります。

耐衝撃性能、防水／防塵性能について

本製品は、耐衝撃性能、防水／防塵性能を備えています。

●耐衝撃性能:

MIL-Standard 810F Method 516.5-Shockを参考に策定した当社独自規格による試験※1をクリアしています。※2

※1 2mの高さから合板(ラワン材)への10方向(6面、4稜)の落下試験

※2 衝撃については日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる場合がありますのでご注意ください。また、本機の性能に異常がなくても落下衝撃にてキズ等が発生します。

●防水性能:

JIS/IEC防水保護等級8級(IPX8)※3および6級(IPX6)に相当します。水深1.5mの水中で60分間の連続使用※4ができるほか、あらゆる方向からの水の直接噴流にも耐えられます。※5

※3 当社の定める指定時間および指定圧力の水中で使用可能なことを意味しています。なお、水中ではタッチパネルの操作はできません。

※4 当社の定める試験条件によります。

※5 モーターポートや水上バイクなど、水上を高速で移動するような場面では使用できません。

●防塵性能:

JIS/IEC防塵保護等級6級(IP6X)に相当します。

★重要

- 本製品の耐衝撃性能、防水／防塵性能は、当社試験方法によるもので、無破損・無故障・性能を保証するものではありません。

■ 水中で使用する前のご注意

本機は水深1.5mまでの環境で水中撮影を行うことができますが、以下の点に注意してお使いください。

- 【CARD】カバーや【USB】カバーのパッキンとその接触面にゴミ、砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は清潔で乾燥した柔らかい布で取り除いてください。たとえ髪の毛1本、砂粒1個など小さなものが挟まっただけでも漏水することがあります。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーの防水パッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーは、しっかり閉じてください。
- 水辺や潮風のあたる場所での【CARD】カバーや【USB】カバーの開け閉め、および濡れた手での開け閉めは避けてください。
- 本機は水中に沈みますので、ストラップを装着するなどして、落とさないようにしてください。
- 本機の防水機能は、海水と真水にのみ対応しています。温泉では使えません。
- 本機を低温下、または40℃以上の高温になる場所(特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内など)に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。

- 水中では無線LAN、Bluetooth無線技術での無線通信は使用できません。カメラだけを水中に入れた場合も、水上のコントローラーやスマートフォンには接続できません。
- 水中ではコントローラーのタッチパネルは使用できません。

■ 水中で使用中のご注意

- 水深1.5m以内、水温0°Cから40°Cの範囲内の場所で使用してください。
- 水中で60分を超えての連続使用はしないでください。
- 連続して水中で使用した後は、防水用特殊シートの性能を維持するため、15分程度間を空けてから使用してください。
- 水中での【CARD】カバーや【USB】カバーの開け閉めはしないでください。
- 本機を持ったまま水中に飛び込まないでください。また、急流や滝など、激しく水のかかる場所で使用しないでください。強い水圧がかかり、漏水や故障の原因になることがあります。
- 本機を故意に水中に落としたり、水面にたたきつけたりしないようにしてください。漏水することがあります。

■ 水中で使用後のご注意

- 【CARD】カバーや【USB】カバーは、カメラについた水滴や汚れを清潔で乾燥した柔らかい布で十分に拭き取った後、開いてください。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーを開いたとき、カバーの内側表面に水滴がつくことがあります。水滴がついているときは、必ず拭き取ってからご使用ください。

■ カメラ使用後のお手入れについて

砂や泥がついたり、水中で使用した後は、【CARD】カバーや【USB】カバーをしっかりと閉めた状態で、以下の手順に従ってカメラを水洗いしてください。

1. 真水に浸して洗う

- バケツなどに水道水などの真水を入れ、その中にカメラを10分程さらし、ゴミ、泥、砂などが良く落ちるようにカメラを軽くゆすりながら洗います。
- 汚れたままのレンズ面、液晶モニターは、こすらないでください。



2. カメラを拭く

- 清潔で乾燥した柔らかい布でカメラの水気を拭き取り、陰干しして乾燥させます。

★ 重要

- 水洗いは30°C以下の水道水で洗ってください。水漏れや故障の原因となりますので洗剤や熱湯、強い水流で洗わないでください。
- カメラを振り回して水切りしたり、ドライヤーなどで強制的に乾燥させないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

■ カメラ使用後のご注意

- 高温(40℃以上)や低温(-10℃以下)の場所に放置しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 洗浄、防錆、防曇等の目的で薬品類は使用しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 水中で使用後は、真水にさらしていない状態で60分以上放置しないでください。カメラの外観不良、防水性能劣化の原因となります。
- 防水性能を維持するために、1年に一度防水パッキンの交換をお勧めします(防水パッキンの交換は有料になります)。防水パッキンの交換につきましては、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ その他のご注意

- 本製品の付属品のUSBアダプターとマイクロUSBケーブルは、防水性能はありません。
- カメラに極度な衝撃が加わると、防水性能を保てない場合があります。
- 寒冷地では本機に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
- 取り扱い上の不注意により、万一、水漏れ事故を起こした場合、内部機材(充電電池、記録メディアなど)の損害、記録内容、及び撮影に要した諸費用などの補償はご容赦願います。
- デジタルカメラの水没事故は、当社では一切その責任を負いかねます。
- 水中使用時の事故(人身事故など)の補償はいたしかねます。

使用上のご注意

■ データエラーのご注意

本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

- カメラの動作中にメモリーカードを抜いた
- カメラの電源を切ったときに動作確認ランプが緑色に点滅している状態でメモリーカードを抜いた
- 通信中にUSBケーブルが外れた
- その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります(96ページ)。メッセージに対応した処置をしてください。

■ 使用環境について

- 使用可能温度範囲: -10~40°C
- 使用可能湿度範囲: 10~85% (結露しないこと)
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる場所、湿気やホコリ、砂の多い場所
 - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - 日中の車内、振動の多い場所

■ 結露について

真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付き(結露)、故障の原因となります。結露を防ぐには、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出して、数時間放置してください。

■ レンズについて

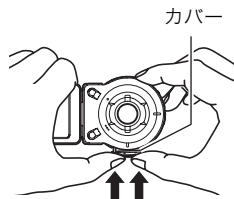
- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズの特性(歪曲収差)により、撮影した画像の直線が歪む(曲がる)場合がありますが、故障ではありません。

■ カメラのお手入れについて

- レンズ面には触れないでください。レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、プロアール等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■ カメラの【CARD】カバー、【USB】カバーの閉じかた

カバーを片手で閉じると、カメラ本体から浮いてしまう場合があります。両手の親指でカバーを左右均等に押し込んで閉じてください



■ 無線機能(無線LAN、Bluetooth無線技術)の使用上のご注意

- この製品は、無線を利用しているためまわりの機器に影響を与えたり、影響を及ぼされる可能性があります。
- 本機は米国輸出規制(EAR)の対象となり、米国禁輸出国への輸出はできません。

使用周波数について

本機は2.4GHz帯周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。

他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、別冊「クイックスタートガイド」の「お客様相談窓口」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

周波数の見方について

無線LAN

2.4DS/OF2

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS及びOFDM方式を採用し、与干渉距離は20mです。

Bluetooth
無線技術

2.4FH1

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

電波転送の傍受について

電波によるデータの送受信は第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

不正アクセスについて

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

無線機器としての利用について

本製品の無線機能は、この取扱説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

磁場・静電気・電波障害について

電子レンジ付近など磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。環境により電波が届かないことがあります。

また、2.4GHz帯の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

公衆LANへの接続に関して

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕向地について

本機の無線LAN機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ その他の注意

使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。

■ 著作権について

カメラで記録した静止画や動画は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。ただし、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず、権利者の許可なく、ネット上のホームページや共有サイトなどに掲載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁じられています。たとえば、録画したTV番組やライブコンサートの映像、音楽ビデオなど自分で撮影や録画したものであっても、動画共有サイトなどに掲載したり配付したりすると、他者の権利を侵害する恐れがあります。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんが、あらかじめご了承ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文中には、™マーク、®マークを明記していません。

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Windows、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、およびWindows 8.1は、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime、iPhoto、およびiPhoneは、Apple Inc.の商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- iOSは米国シスコの商標もしくは登録商標です。

- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by CASIO COMPUTER CO., LTD. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

- コントローラー部に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- EXILIMおよびEXILIM Linkは、カシオ計算機(株)の登録商標または商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

本製品に弊社が提供しているソフトウェアを、無断で営業目的で複製(コピー)したり、頒布したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

iPerf (BSD License)

Copyright (c) The Board of Trustees of the University of Illinois
All Rights Reserved.

Iperf performance test

Mark Gates

Ajay Tirumala

Jim Ferguson

Jon Dugan

Feng Qin

Kevin Gibbs

John Estabrook

National Laboratory for Applied Network Research

National Center for Supercomputing Applications

University of Illinois at Urbana-Champaign

<http://www.ncsa.uiuc.edu>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (Iperf) and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of the University of Illinois, NCSA, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

inet_ntop, inet_pton

ISC License (ISC)

[OSI Approved License]

Copyright (C) 1996-2001 Internet Software Consortium.

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

充電について

■ 充電中にカメラおよびコントローラーの動作確認ランプが赤色に点滅したときは

充電中にカメラおよびコントローラーの動作確認ランプが赤色に点滅したときは、以下のいずれかの場合により充電できないことを示しています。説明に従って処置したあとに、再度充電してください。

周辺温度または電池の温度が、高温または低温状態である場合

USBケーブルを抜いて常温でしばらく放置したあと、周囲の温度が15°C～35°Cの温度範囲で充電を再開してください。

タイマーが働いた場合

電池の未使用期間が長期化した場合や、パソコンの種類や接続環境によっては充電時間が延びる場合があります。充電時間が最大5時間を超えると、タイマーが働き、フル充電でない場合でも充電を停止します。

また、電池の未使用期間が更に長期化した場合は約60分で充電を停止することもあります。

1) 長期間充電しなかった場合

USBケーブルを一度抜いて、再度差し込んで充電を再開してください。

2) パソコンで充電する際、接続環境によって十分な電力を供給できない場合

USB2.0準拠のUSB端子からのみ充電できます。500mA程度の電流供給ができるUSBポートに直接差し込んでください。

パソコンの給電能力については、ご使用のパソコンのメーカーにお問い合わせください。USBケーブルを一度抜いて、再度差し込んで充電を再開することもできますが、給電能力が低いパソコンの場合は、この動作を繰り返さないとフル充電にならない場合があります。

上記の処置をしてもエラーが起こる、または5時間を超えても充電が終了しない場合は、電池の不良が考えられます。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

電池に関するご注意

■ 使用上のご注意

- 寒い場所では、電池の特性上、十分に充電されていても、使用時間が短くなります。
- 15°C～35°Cの温度範囲で充電してください。範囲外の温度では、充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。

■ 保管上のご注意

- 充電された状態で長期間保管すると電池の特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保管してください。
- 過放電を防止するために、電池は半年に1回くらいの割合で一度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

海外で使うときは

■ 使用上のご注意

- 付属のUSB-ACアダプター(AD-C54UJ)はAC100V～240V、50/60Hzの電源に対応していますが、使用する国・地域によってUSB-ACアダプターのプラグ形状等が異なるため、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- USB-ACアダプターの電源に、電圧変換器等はご使用にならないでください。故障の原因となります。

カメラを廃棄するときは

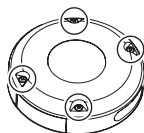
本機を廃棄する場合は、カメラに内蔵のリチウムイオン充電電池を取り出してリサイクルしてください。

※ 重要

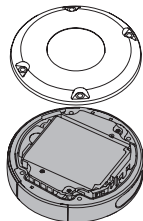
- 本機の電池はご自分で交換できません。電池を交換したい場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 電池を外すときは、本機の電源を切ってください。
- 電池をカメラから取り出すときに、パネルの縁で手を切らないようにご注意ください。
- ネジを取り外すときは、プラスの精密ドライバーを使用してください。

■ カメラ

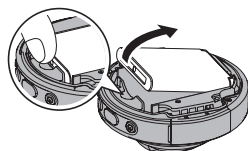
1. 背面のネジを4箇所外す



2. 背面カバーを取り外す

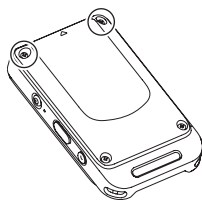


3. 図の位置に指を掛けて、電池を取り外す

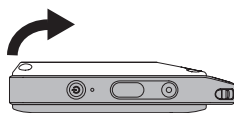


■ コントローラー

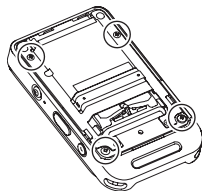
1. 背面のネジを2箇所外す



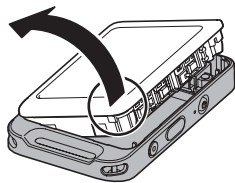
2. 背面カバーを矢印の方向に回転させるようにして外す



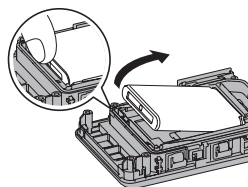
3. 背面のネジを4箇所外す



4. 液晶モニター丸で囲まれた部分を持ち、矢印の方向に回転させるようにして外す



5. 図の部分に指を掛けて、持ち上げるようにして電池を外す



■ 充電式電池の取り扱いについて(リサイクルのお願い)



不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

＜最寄りのリサイクル協力店へ＞

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

・ ホームページ <http://www.jbrc.com/>

■ 使用済み電池の取り扱い注意事項

- ・ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- ・ 被覆をはがさないでください。
- ・ 分解しないでください。

メモリーカードについて

使用できるメモリーカード、メモリーカードの入れ方については28ページをご覧ください。

■ メモリーカードについて

- 画像を再生したときに異常が発生した場合などは、フォーマット操作(65ページ)で復帰できますが、外出先などでこの操作ができない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちになることをおすすめします。
- メモリーカードは撮影/消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちてくるので、定期的にフォーマットすることをおすすめします。
- 静電気、電氣的ノイズ等により、記録したデータが消失または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア(CD-R、CD-RW、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。

■ メモリーカードのご使用上の注意

- メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合がありますので、できるだけ超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。ただし、超高速タイプのメモリーカードであっても、すべての動作を保証することはできません。
- 当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。詳しくは、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトの「デジタルカメラお客様サポートメニュー」(<http://casio.jp/support/dc/>)をご覧ください。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

■ メモリーカードやカメラ本体を廃棄/譲渡するときのご注意

本機の「フォーマット」や「消去」機能では、メモリーカード内のファイル管理情報だけが変更され、データそのものが変更されないことがあります。メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。たとえば以下のような手法をおすすめします。

- 廃棄の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。
- 譲渡の際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。

また、内蔵メモリーのデータは「フォーマット」機能(65ページ)で完全に消去してからカメラ本体を廃棄・譲渡することをおすすめします。

リセット操作でリセットされる内容

撮影モード、再生モードで表示されるメニューで、リセット操作(65ページ)でリセットされる(初期値になる)内容の一覧表です。また、メニュー以外の内容も一部リセットされます。

—: この記号の設定項目はリセット操作には影響がありません。

重要

- 撮影モードによって使用できないメニュー項目があります。

■ 撮影メニュー

メイクアップ	OFF
タッチシャッター	ON
静止画サイズ	14M
最大録画時間	OFF
EVシフト	0.0

ホワイトバランス	オート
自動回転	ON
鏡面反転	OFF
セットアップ	→91ページ

■ 再生メニュー

回転表示	—
セットアップ	→91ページ

■ セットアップメニュー


画面ロック	OFF
カメラ音	HIGH
パイプレーション	ON
フリック起動	ON
日時設定	—
表示スタイル	—

Language	—
スリープ	10 min
フォーマット	—
リセット	—
バージョン情報	—

■ インターバル撮影の設定(33ページ)

モード	スポーツ
間隔	15 sec
撮影パターン	静止画のみ

■ ハイライトフォトの設定(53ページ)

レイアウト	
-------	---

■ ハイライトムービーの設定(54ページ)


対象画像	全部
最大再生時間	30sec
音楽	音楽1


■ タイムラプス

再生速度	高速
音楽	音楽1

故障かな？と思ったら


現象と対処方法

現象	考えられる原因と対処
電源について	
電源が入らない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) お買い上げ直後は電池は充電されていません。充電してからご使用ください。 2) 本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(18ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
電源が勝手に切れた。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(18ページ)。 2) カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度を下げたからお使いください。 3) 電源を入れたあと、動作確認ランプが赤く点滅して電源が切れることがあります。この場合、レンズエラーなどの内部エラーが考えられます。電源の入/切を繰り返したり、電池を充電してください。それでも解消しない場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
電源が切れない。ボタンを押しても、カメラが動作しない。	カメラのメモリーカード挿入部付近とコントローラーの【USB】端子付近にあるリセットボタン(7ページ)を、先が細いもので押して電源を切り、再度電源を入れてください。
充電について	
動作確認ランプが赤く点灯せず、充電できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) カメラおよびコントローラーに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてください。 2) カメラおよびコントローラーの電源が切れた状態で、USBケーブルを接続してください。電源が入った状態でUSBケーブルを接続すると、充電が開始しない場合があります。
撮影について	
シャッターを押しても撮影できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 再生モードになっている場合は、メイン画面の  (撮影) をタッチして撮影モードにしてください。 2) “メモリーがいっぱいです”と表示されている場合は、パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
ピントが合わない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。 2) 手ブレしている可能性があります。カメラを置くなどして固定させて撮影してください。
セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(18ページ)。
画像にノイズが入る。	被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。

現象	考えられる原因と対処
撮影したのに画像が保存されていない。	1) 記録が終了する前に電池切れになった場合、画像は保存されません。電池残量表示が  になったら、速やかに電池を充電してください(18ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた場合、画像は保存されません。記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。
風景が明るいのに人物の顔が暗くなってしまった。	人物が光量不足です。EVシフトを+側に調整してください(43ページ)。
海岸やスキー場で撮影すると被写体が暗くなる。	海岸や雪面からの強い光の反射に露出が合っているため、露出不足になっています。EVシフトを+側に調整してください(43ページ)。
動画撮影中に画像がぼける。	1) 撮影範囲外のためピントが合っていません。撮影範囲内で撮影してください。 2) レンズが汚れている可能性があります。清掃してください(80ページ)。 3) 撮影開始時から被写体距離が大きく動いた場合は、ぼけることがあります。
再生について	
再生モードにならない。	インターバル撮影中は再生モードに切り替えることができません。
再生した画像の色が撮影時に液晶モニターで見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている可能性があります。直接光がレンズに当たらないようにしてください。
画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のカメラで撮影したメモリーカードを使用した場合は、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
画像を回転できない。	次の画像は回転できないことがあります。 • 他のカメラで撮影した画像
消去について	
ファイルを消去することができない。	ファイルにプロテクトがかかっている可能性があります。プロテクトがかかっている画像を、本機で消去することはできません。
無線LAN機能について	
無線LANに接続できない。接続が途切れる。	1) カメラとスマートフォンが離れていると、カメラに接続できません。 2) スマートフォンが他の無線LANに接続している可能性があります。スマートフォンのWi-Fi設定で、本機が選ばれているか確認してください(60ページ)。 3) 電子レンジやコードレス電話機、他の無線LAN機器などの機器を近くで使用している場合は、接続が途切れることがあります。機器から十分に離してお使いください。
SSIDとパスワードを忘れた。	カメラの【●】(ムービー)を押したままシャッターと【⏻】(電源)を6秒間押し続けると、SSIDとパスワードが初期値に戻ります。SSIDとパスワードの初期値については、60ページをご覧ください。

現象	考えられる原因と対処
Bluetooth無線技術での接続について	
カメラとコントローラーを接続できない。	1) カメラとコントローラーが離れていると接続できません。 2) カメラがスマートフォンなどと無線LANで接続しているときはBluetooth無線技術での接続ができません。無線LAN接続を解除してください。 3) カメラをパソコンに接続している場合は、USBケーブルを抜いて接続を解除してください。 4) それでも接続できない場合は、カメラとコントローラーのシャッターを押しながら【⏻】(電源)を6秒以上長押ししてください。Bluetooth無線技術での接続に必要なペアリングが開始します。
その他	
画面に表示される日時や記録したデータの日付が正しくない。	日時の設定が間違っているので、日時を設定し直してください(64ページ)。
画面に表示される言葉が外国語になっている。	表示言語の設定が間違っているので、表示言語を設定し直してください(64ページ)。
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1) USBケーブルが確実に接続されていない可能性があります。コネクタ端子部を確認して、確実にカメラに接続してください。 2) カメラの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 3) USBケーブルをUSBハブなどを經由してパソコンと接続すると、正しく認識しない場合があります。USBケーブルはパソコンのUSB端子に直接接続してください。
カメラの電源を入れると、時計設定画面が表示される。	1) ご購入直後の初期設定をしていないか、電池が消耗状態でカメラを放置しています。各設定を確実に行ってください(26, 64ページ)。 2) カメラ内部のメモリー管理エリアが壊れている恐れがあります。この場合は、リセット操作によりカメラの設定内容を初期値に戻してください(65ページ)。その後、各設定を確実に行ってください。再度カメラの電源を入れたときに時計設定画面が表示されなければ、カメラ内部のメモリー管理エリアが修復されました。再度電源を入れても時計設定画面が表示される場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
画面に色々なマークや数字などが表示される	画面には撮影に必要な表示や撮影した画像の情報などが表示されます。メイン画面の“DISP”をタッチすると、画面に表示される情報表示の有無が選べます(9ページ)。
電源を入れた直後、ボタン操作ができない。	メモリーカードの容量が大きい場合、電源を入れてからボタン操作ができるまでの時間が長くなります。
画面に画像が表示されない。	1) カメラの電源が入っていない。 2) カメラとコントローラーがBluetooth無線技術で接続されていません(23ページ)。

画面に表示されるメッセージ

温度が上昇したため電源をOFFします	カメラ、もしくはコントローラーが一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。 電源を切ったまましばらく放置し、温度を下げたからお使いください。
カードが異常です	メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示されるときは、フォーマットしてください(65ページ)。  重要 • フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前にパソコン等を利用して、メモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カメラとの接続に失敗しました電源をOFFします	カメラとコントローラーがBluetooth無線技術で接続できなかったときに表示されます(95ページ)。
カメラの温度が上昇しています	カメラの温度が上昇したため、継続使用すると保護動作が働く可能性があります。 動作を中断して電源を切ってから放置し、温度を下げることをお勧めします。
この機能は使用できません	機能の組み合わせなどにより使用できない機能を使用した場合、操作の途中で表示されます。
このファイルを再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
電池容量がなくなりました	カメラまたはコントローラーの電池がなくなったときに表示されます。
電池容量がなくなりました ファイルが保存されませんでした	カメラの電池がなくなったため、撮影した画像ファイルが保存されませんでした。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。
ファイルが作成されませんでした	対象となる画像が足りず、ハイライトフォトやハイライトムービーで画像が作成できなかったときに表示されます。
フォルダーが作成できません	999番のフォルダーの中に9999番のファイルが登録されている状態で、撮影しようとしたときに表示されます。撮影を続けるには、不要なファイルを消去する必要があります(49ページ)。
スマートフォンとの接続に失敗しました	スマートフォンと接続できなかったときに表示されます。

メモリーがいっぱい です	撮影可能枚数を使い切った場合、または編集後のファイルを保存できるメモリーの空きがない場合に表示されます。不要なファイルを消去してください(49ページ)。
SYSTEM ERROR	カメラのシステムが壊れていますので、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

撮影可能枚数／撮影可能時間

静止画

静止画サイズ (pixels)	画像ファイル サイズ	内蔵メモリー※1 での撮影枚数	microSD メモリーカード※2 での撮影枚数
14M(4320×3240)	3.40MB	13	3199
16:9(4320×2432)	2.23MB	18	4355
5M(2560×1920)	1.12MB	39	9040
3M(2048×1536)※3	0.82MB	53	12439

動画

設定内容/ pixels(音声)	転送レート (フレームレート)	1ファイル 最大サイズ	内蔵 メモリー※1 での撮影時間	microSD メモリー カードでの 最大記録 可能時間※2	1分録画時の ファイルサイ ズ
Full HD 1920×1080 (モノラル)	17メガビット/秒 (30フレーム/秒)	4GBまたは 29分まで	29秒※4	2時間 1分19秒	130MB

※1 内蔵メモリーをフォーマット後の容量(約65.9MB)の場合です。

※2 16GB microSDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製)の場合です。使用するメモリーカードによって撮影枚数・記録時間は異なる場合があります。

※3 インターバル撮影のスポーツモード時のみ使用できます。

※4 内蔵メモリーでは、Full HD動画の転送レートを十分に満足できません。超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。

- メモリーカードの転送速度によっては記録時間がかかるため、コマ落ちする場合があります。
- 撮影枚数／撮影時間は目安(おおよその数値)であり、画像の内容によって少なくなることがあります。
- ファイルサイズ／転送レートは目安(おおよその数値)であり、撮影対象によって変化することがあります。
- 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおよその容量に比例した枚数が撮影できます。

主な仕様／別売品

画像 ファイル 形式	静止画: JPEG(Exif Ver.2.3/ DCF2.0準拠) 動画: MOV形式、H.264/AVC準 拠、IMA-ADPCM音声(モノラル)
------------------	---

記録媒体	内蔵フラッシュメモリー (画像記録エリア: 65.9MB*) microSD/microSDHC/ microSDXC ※ 内蔵メモリーをフォーマット 後の容量
------	---

記録画素数	静止画: 14M(4320×3240)/ 16:9(4320×2432)/ 5M(2560×1920)/ 3M(2048×1536)* 動画: Full HD(1920×1080 30fps) ※ インターバル撮影のスポーツ モード時のみ使用できます。
-------	--

有効画素数	1400万画素
-------	---------

撮像素子	サイズ: 1/2.3型正方形画素CMOS 総画素数: 1676万画素
------	---------------------------------------

レンズ/ 焦点距離 (静止画)	F2.8/f=3.8mm(35mmフィルム 換算21mm相当)
-----------------------	------------------------------------

ズーム	デジタルズーム: 4倍
-----	-------------

フォーカス	コントラスト検出方式オート フォーカス ・フォーカス方式: オートフォーカス ・AFエリア: インテリジェント/マルチ
-------	--

撮影距離 範囲 (静止画) (レンズ 先端から)	オートフォーカス: 約10cm~∞
--------------------------------------	-------------------

露出補正	-2.0EV~+2.0EV (1/3EVステップ)
------	------------------------------

ホワイト バランス	オート/屋外/屋内
--------------	-----------

画像 モニター (コント ローラー)	2.0型TFTカラー液晶 230,400ドット 静電容量式タッチパネル
-----------------------------	---

外部 接続端子 (カメラ)	マイクロUSB端子(Hi-Speed USB準拠、USB充電、 USB給電駆動対応)
---------------------	--

外部 接続端子 (コント ローラー)	マイクロUSB端子(USB充電、 USB給電駆動対応)
-----------------------------	--------------------------------

マイク (カメラ)	モノラル
--------------	------

スピーカー (カメラ)	モノラル
----------------	------

電源	カメラ: リチウムイオン充電池 (内蔵) コントローラー: リチウムイオン 充電池(内蔵)
----	--

通信機能 (カメラ)	Bluetooth: ・バージョン: Bluetooth ver2.1+EDR ・出力クラス: Class 2 Wi-Fi: 準拠規格 IEEE 802.11b/g/n
---------------	---

通信機能 (コント ローラー)	Bluetooth: ・バージョン: Bluetooth ver2.1+EDR ・出力クラス: Class 2
-----------------------	--

電池寿命

下記の電池寿命は温度23°Cで使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

静止画撮影枚数※1	約255枚
動画実撮影時間 (Full HD動画)※1	約1時間
動画連続撮影時間 (Full HD動画)※2	約1時間25分
連続再生時間 (静止画)※3	約5時間

- 温度:23度
- 使用電池:
NP-80(定格容量:700mAh)
- 記録メディア:16GB microSDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製 UHS-1シリーズ)

※1 CIPA(カメラ映像機器工業会)規格に準ずる

※2 カンオ基準による

※3 約10秒に1枚ページ送り

- 前記は、お買い上げ後初めて充電したときの数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。
- この数値は実際の使用での電池寿命を保証するものではありません。
- 電源が入った状態の時間、その他設定、使用時の温度により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

消費電力 カメラ:DC 5V 約2.8W
コントローラー:DC 5V 約2.6W

外形寸法 カメラ:
直径60.9mm×奥行き28.8mm
(ヒンジユニット含まず)
コントローラー:
幅49.7mm×高さ84.2mm×
奥行き18.9mm
合体:
幅60.9mm×高さ153.1mm×
奥行き34.2mm(ヒンジユニット
含む)

質量 カメラ:
約63g(ヒンジユニット含まず、
メモリーカード含む)
コントローラー:約80g
合体:
約175g(ヒンジユニット含む、
メモリーカード含む)

■ USB-ACアダプター (AD-C54UJ)

入力 AC100-240V 50/60Hz
90mA

出力 DC5.0V 650mA

使用周囲温度 5~35°C

外形寸法 幅64.6mm×高さ38.4mm×
奥行き24mm(突起部除く)

質量 約40g

■ 別売品 (2015年5月現在)

- USB-ACアダプター AD-C53U
- USB-ACアダプター AD-C54UJ
- EXILIMトライポッド
マウンター EAM-1
- EXILIMマルチアングル
クリップ EAM-2
- EXILIMマルチアングル
ベルトセット EAM-3
- EXILIMマルチアングル
スティック EAM-4

上記をはじめとする別売品の最新情報については、携帯電話やスマートフォンで下のQRコードを読み取るか、下記アドレスに接続して、Webサイトでご確認ください。
また、カタログでもご確認ください。



<http://casio.jp/dc/option/>

別売品は、お買い求めの販売店、または
e-casio カシオオンラインショッピング
にご用命ください。

URL: <http://www.e-casio.co.jp/>

CEマーキングは、ヨーロッパ地域の基準適合マークです。



The copy of the Declaration of Conformity can be found on
<http://world.casio.com/ce/dc/>.

To comply with the relevant European RF exposure compliance requirements, this EX-FR10, EX-FR10CT must not be co-located or operating in conjunction with other transmitter.

Note: This equipment is intended to be used in all EU and EFTA countries.
Outdoor use may be restricted to certain frequencies and/or may require a license for operation.
For more details, contact your customer service representative.

Hereby, Casio Europe GmbH, Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany, declares that this Digital Camera Model EX-FR10, EX-FR10CT is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

CAUTION

Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type.
Dispose of used batteries according to the instructions.

索引

英数字

Bluetooth	23
DCF 規格	76
DISP	9
EV シフト	43
EXILIM Link	59
Language	64
microSD メモリーカード	27
microSDHC メモリーカード	27
microSDXC メモリーカード	27
QuickTime Player	74
USB ドライバー	73

あ

明るさ	43
印刷	66
インターバル撮影	33
液晶モニター	8
オートフォーカス	36

か

回転表示	50
拡大	49
画素	42
画像サイズ	42
カメラ音	63
画面ロック	63
鏡面反転	45

さ

再生 (再生モード)	46, 47, 48
最大録画時間	42
撮影 (撮影モード)	30, 32
時刻	26, 64
自動回転	44
充電	18, 86
消去	49
ズーム	37
スリープモード	24
静止画	30, 47
静止画サイズ	41
セルフタイマー	36

た

耐衝撃性能	77
タイムラプス	51
タッチシャッター	41
タッチパネル	17
手ブレ	39
電源	86
電池	18
電池残量	22
動画	38, 46

な

内蔵メモリー	27
日時	26, 64
日時設定	64

は

バージョン情報	65
バイブレーション	63
ハイライトスコア	56
ハイライトフォト	53
ハイライトムービー	54
パソコン	68
日付	26, 64
表示言語	64
表示スタイル	64
ピント	36
ファイル	75
フォーマット	29, 65
フォルダー	75, 76
フリック起動	64
プリンター	66
プリント	66
プレミアムオート	30
防塵性能	77
防水性能	77
ホーム画面	32, 46
ホワイトバランス	44

ま

ムービー	38, 48
無線 LAN	57
メイクアップ	41
メイン画面	32, 46
メッセージ	96
メッセージの言語	64

メニュー	40
メモリーカード.....	27, 65, 90

ら

リセット	65
リセットボタン.....	93
露出補正	43

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA1507-B

© 2015 CASIO COMPUTER CO., LTD.